令和元年度事業対象

教育委員会の事務点検・評価報告書

令和2年12月 和寒町教育委員会

次 目

Ι	į	教育委員会点検 ·	・評価につ) } \	て	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 2
	1	· -	· ·	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				2
	2			•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				3
	3	点検・評価の力	· 方法 •	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				3
П	į	教育委員会の活動	协状況		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				4
	1	教育委員会議の)開催状況	į	•	•					•		•	•			•	•		•		•				6
	2	条例、規則等の)制定状況]	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				8
	3	研修会、各種行	_了 事、視察	£	会議	等	~	0)	参	加	状	況			•	•	•	•	•	•	•	•				1 0
	4	教育委員会議の)点検評価	į	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				18
	5	教育委員会議の	の課題と対	策		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				19
Ш		教育委員会の事務	め 管理及	ι℧ 	執行	状	:況	の	点	検	評	価	に	つ	ひり	て			•	•	•	•			:	2 1
	1	学校教育関係評	平価項目			•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•				2 1
	2	社会教育関係評	平価項目			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				3 2
	3	図書館関係評価	西項目	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				4 1
	4	スポーツ振興队	身係評価項	目		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				4 5
IV	<u>.</u>	学識経験者の意見	1 ••	•		•	•	•	•	•		•	•	•	•	•		•	•	•	•	•				4 9
資	:	料																								

1 令和元年度和寒町教育行政執行方針

I 教育委員会点検・評価について

1. 趣 旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号)が改正され(平成20年4月1日施行)「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならない」と義務付けられました。

この点検・評価報告書は、法改正の趣旨である効果的な教育行政の推進に資するとともに町民の皆さまに説明責任を果たすため、学識経験者の意見を活用した教育委員会活動の点検・評価を実施し、検討した結果の今後の方針をお知らせするものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26 条 教育委員会は、<u>毎年、その権限に属する事務</u>(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)<u>の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。</u>

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象

前年度の事業実績を対象とし、対象範囲は、法第 21 条の「教育委員会の職務権限」として規定された事務及び「町長の権限に属する事務の和寒町教育委員会への委任された事務」など、教育委員会が所掌するすべての事務となっていますが、報告書作成にあたっては、「令和元年度教育行政執行方針」に掲げられた重点項目に基づく主な施策・事業を対象としています。

3. 点検・評価(自己評価)の方法

点検・評価にあたっては、事業ごとにマネジメントシート(それぞれの事業を管理し、効果を最大限に発揮するために分析を行うシート)を作成し、事業・施策の管理・執行状況を明らかにするとともに、課題と今後の方針などについて示し、自己点検及び評価を行いました。

その後、教育に関し学識経験を有する外部評価委員3名の客観的な評価・意見であります「外部評価」を頂いたうえで、「教育委員会の事務点検・評価報告書」としてまとめました。



1. 教育委員会議の開催状況

定例会は、原則として毎月1回、臨時会は必要に応じて開催することとしており、 令和元年度は、定例会12回を開催し、議案47件、報告4件、その他20件について審議しました。

また、一部の非公開となった内容を除き、教育委員会の開催予定日や議案等を公表しました。

なお、教育委員会議において議決が必要な事項は次に掲げる事項で、それ以外の 権限に属する事務は、教育長に委任されております。(地方教育行政の組織及び運 営に関する法律)

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)】

(教育委員会の職務権限)

- 第21条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に 掲げるものを管理し、及び執行する。
- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関(以下「学校その他の教育機関」という。)の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産(以下「教育財産」という。)の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免をの他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退 学に関すること。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導 及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。

- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、 厚生及び福利に関すること。
- (10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

1. 教育委員会議の開催状況

教育委員会議の開催回数

12回

令和元年度において、次のとおり教育委員会議を開催し、審議を行いました。

期日			議	題 (内 容)
平成31年4月15日	議	案	1	和寒町教育委員会事務局職員の任免について
(月)			2	和寒町スポーツ推進委員の委嘱について
			3	平成31年度和寒町奨学資金貸付者の決定について
			4	平成31年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	そり	の他	1	今後の日程について
令和元年5月15日	議	案	1	
(水)				会規則の一部を改正する教育委員会規則について
			2	和寒町未来を拓く人づくり推進事業補助規則の一部を改正する教育 委員会規則について
			3	和寒町教育委員会次長専決規程の一部を改正する教育委員会訓令に ついて
			4	和寒町学校運営協議会委員の任命について
	そり	の他	1	北海道市町村教育委員研修(7月)について
			2	第58回町民運動会について
				今後の日程について
令和元年6月14日	議	案	1	
(金)			2	和寒町文化財保護委員の委嘱について
			3	和寒町スポーツ指導員の委嘱について
			4	令和元年度一般会計補正予算 (教育に関する事務に係る部分) の意見聴取について
	報	告	1	教職員に係る勤勉手当の評価について
	そり	の他	1	全道市町村教育委員研修について
			2	使用料・手数料の見直しについて
			3	今後の日程について
令和元年8月6日	議	案	1	和寒町招致外国青年任用規則の一部を改正する教育委員会規則について
(火)			2	和寒町立小学校通学区域規則の一部を改正する教育委員会規則につ いて
			3	和寒町立小中学校通学用ヘルメット購入費補助金交付要綱を一部を 改正する教育委員会告示について
			4	全国学力・学習状況調査結果の公表の可否について
			5	令和元年度一般会計補正予算(教育に関する事務に係る部分)の意 見聴取について
			6	令和2年度から使用する学校教科用図書の採択について
	そり	の他	1	外国語指導助手について
				今後の日程について
令和元年9月9日	報	告		学校給食費の改定について
(月)	そり	の他	1	今後の日程について

期日				議	題 (内 容)
令和元年10月1日	報		告	1	和寒町教育委員会委員の任命について
(火)	議		案	1	和寒町教育委員会教育長職務代理者の指定について
				2	和寒町教育委員会事務局職員の任免について
				3	和寒町文化奨励賞について
				4	和寒町スポーツ奨励賞について
	そ	0)	他	1	今後の日程について
令和元年12月3日	議		案	1	和寒町立学校施設の開放に関する条例の一部改正についての意見の
(火)					申し出について
				2	和寒町公民館条例の一部改正についての意見の申し出について
				3	和寒町立図書館設置条例の一部改正についての意見の申し出について
				4	和寒町片栗庵設置条例の一部改正についての意見の申し出について
				5	和寒町北原交流展示館設置条例の一部改正についての意見の申し出について
				6	和寒町地域体育館設置及び管理条例の一部改正についての意見の申し出について
				7	和寒町研修館楡設置条例の一部改正についての意見の申し出について
				8	和寒町体育施設設置条例の一部改正についての意見の申し出について
				9	和寒町学校給食費徴収条例施行規則の一部を改正する教育委員会規 則について
				10	令和元年度一般会計補正予算(教育に関する事務に係る部分)の意 見聴取について
				11	平成30年度教育委員会の事務管理及び執行状況の点検・評価について
				12	令和元年度和寒町未来を拓く人づくり推進事業補助金の交付決定について
	報		告	1	教職員に係る勤勉手当の評価について
	そ	<i>(</i>)	他	1	全国学力・学習状況調査結果について
				2	今後の日程について
令和元年12月25日	議		案	1	和寒町教育支援委員会委員の委嘱について
(水)				2	令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
	そ	0)	他	1	今後の日程について
令和2年1月6日	議		案	1	令和2年度和寒町一般会計教育関係当初予算の意見聴取について
(月)	そ	の	他	1	今後の日程について
令和2年2月10日	議		案	1	令和2年度和寒町教育行政執行方針について
(月)				2	令和2年度和寒町一般会計当初予算(教育関係)についての意見の申
				3	し出について 令和元年度一般会計補正予算(教育に関する事務に係る部分)の意 見聴取について
	マ	\mathcal{O}	他	1	
			,	-	今後の日程について
令和2年3月3日	議		案	1	和寒町招致外国青年任用規則の一部を改正する教育委員会規則について
(火)				2	令和元年要保護・準要保護児童の認定について
				3	和寒町教育アドバイザーの任命について
	そ	0)	他	1	和寒小学校及び中学校評価報告について
				2	今後の日程について
L					

期日		議	題	(内	容)
令和2年3月23日	議 案	1	和寒町教育職員の 制定について	業務量の適	i切な管理等	に関する教	育委員会規則の
(月)		2	教職員の人事につ	いて			
		3	和寒町社会教育指	導員の任命	について		
		4	学校医・学校歯科	医•学校薬	剤師の委嘱	について	
	その他	1	今後の日程につい	て			

2. 条例、規則等の制定状況

教育関係の令和元年度の条例、規則等の制定状況は、条例改正8件、規則制定1件、規則改正6件、 規程改正1件、要綱改正1件、あわせて17件を審議しました。

条例

条例番号	題名	公布年月日	施行年月日	
(元年)	和寒町立学校施設の開放に関する条例の一部を	令和元年12月23日	令和2年4月1日	
条例第36号	改正する条例	14 11194 1 1194 1 1 1	14 (189 1941	
(元年)	和寒町公民館場条例の一部を改正する条例	令和元年12月23日	令和2年4月1日	
条例第37号	和本門公民的物味的の一部を以正する未例	节和几平12万23日	节和2千年月1日	
(元年)	和寒町立図書館設置条例の一部を改正する条例	令和元年12月23日	令和2年4月1日	
条例第38号	和本門立囚責助政直末例ック 即で以上する末例	月和几平12万25日	月和2十年月1日	
(元年)	和寒町片栗庵設置条例の一部を改正する条例	令和元年12月23日	令和2年4月1日	
条例第39号	和本門月末庵以直末内ツー印で以正する末内	月和几平12万25日	13 1 12 1 17 1 1 1	
(元年)	和寒町北原交流展示館設置条例の一部を改正する条例	今和元年19月93日	令和2年4月1日	
条例第40号	和公司和派天师派小路队巨不万岁 即飞跃正分 3 不万	日4日7七十12万25日	节和2千4万1日	
(元年)	和寒町地域体育館設置及び管理条例の一部を改	令和元年12月23日	令和2年4月1日	
条例第41号	正する条例	11/11/11/11/11/11/11/11/11	11/112-1-4/11 1	
(元年)	和寒町研修館楡設置条例の一部を改正する条例	令和元年12月23日	令和2年4月1日	
条例第42号	(110~11901100000000000000000000000000000	1 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	月7日2十年月1日	
(元年)	和寒町体育施設設置条例の一部を改正する条例	令和元年12月23日	令和2年4月1日	
条例第43号	(11本門 仲 日旭以以巨木内)り 即で以上りる木内	D 7H 7G P 1Z 7J Z 3 F	月和2十年月1日	

規則・要綱

規則番号	題名	公布年月日	施行年月日
(元年) 教育委員会規則第5号	教育行政に関する相談に関する事務を行う職員 を指名する教育委員会規則の一部を改正する規 則	令和元年5月17日	平成31年4月1日
(元年) 教育委員会規則第6号	和寒町未来を拓く人づくり推進事業補助規則の 一部を改正する教育委員会規則	令和元年5月17日	平成31年4月1日

規則番号	題名	公布年月日	施行年月日	
(元年)	和寒町教育委員会次長専決規程の一部を改正す	令和元年5月17日	平成31年4月1日	
教育委員会規則第7号	る教育委員会告示	11 4 H 7 C T - 0 / 1 1 1 H	十次31十4/11日	
(元年)	和寒町招致外国青年任用規則の一部を改正する	令和元年8月7日	令和元年8月5日	
教育委員会規則第8号	教育委員会規則	节和几千0万7日	节作几千0万3日	
(元年)	和寒町立小学校通学区域規則の一部を改正する 教育委員会規則	A== F0 B 7 B	令和元年8月7日	
教育委員会規則第9号		令和元年8月7日	7747140月1日	
(元年)	和寒町立小中学校通学用ヘルメット購入費補助	令和元年8月7日	令和元年8月7日	
教育委員会告示第17号	金交付要綱を一部を改正する教育委員会告示	节和几千0万7日	17年71年6万千日	
(元年)	和寒町学校給食費徴収条例施行規則の一部を改	令和元年12月26日	令和2年4月1日	
教育委員会規則第10号	正する教育委員会規則	节和几平12万20日	节和2千4万1日	
(2年)	和寒町招致外国青年任用規則の一部を改正する	令和2年3月13日	令和2年4月1日	
教育委員会規則第1号	教育委員会規則	↑ 7112 113 月 13 日	〒 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /	
(2年)	和寒町教育職員の業務量の適切な管理等に関す	令和2年3月24日	令和2年4月1日	
教育委員会規則第2号	る教育委員会規則	114H2+13/7 24 H	口小田乙十五万1日	

3. 研修会、各種行事、視察、会議等への参加状況

教育委員は、教育委員会議のほか中学校への学校訪問や行事への参加、各種研修会、 会議等へ出席するなどの活動を行っております。

年月日	活 動 内 容	場		所	委	員	名
平成31年4月1日	新規職員採用者辞令交付式	役		場	教育長		
IJ	企画会議	役		場	教育長		
平成31年4月2日	生涯スポーツアドバイザー就任挨拶	名	寄	市	教育長		
IJ	平成31年度和寒町教職員辞令交付式	公	民	館	教育長	• 委員 ·	4名
平成31年4月5日	和寒小学校入学式	和 寒	小 学	校	教育長	・委員	3名
IJ	和寒中学校入学式	和 寒	中 学	校	教育長	· 委員:	3名
平成31年4月8日	ジュニアオリンピックスキーアルペン競技成績報告	役		場	教育長		
平成31年4月9日	第6地区教科書採択教育委員会協議会	旭	Ш	市	教育長		
IJ	上川管内教育委員会教育長会議	旭	JII	市	教育長		
平成31年4月10日	和寒町教育研究会総会	和 寒	中学	校	教育長		
平成31年4月11日	自治会行政委員会議	町民	センタ	_	教育長		
平成31年4月12日	上川管内公立小中学校長会議	旭	Ш	市	教育長		
平成31年4月14日	小学校参観日	和 寒	小 学	校	教育長		
平成31年4月15日	第5回教育委員会議	公	民	館	教育長	· 委員 ·	4名
IJ	中学校参観日	和 寒	中学	校	教育長		
平成31年4月16日	わっさむフレンドパーク総会	公	民	館	教育長		
平成31年4月17日	かたくり庵のつどい実行委員会	公	民	館	教育長		
IJ	芸術文化公演会実行委員会	公	民	館	教育長		
平成31年4月18日	全国学力・学習状況調査	和寒	小中学	校			
IJ	北海道公民館協会上川支部総会	士	別	市	教育長		
平成31年4月19日	入札会(パークゴルフ場改修工事)	町民	センタ	_	教育長		
IJ	札幌自由が丘学園三和高等学校入学式	公	民	館	教育長		
平成31年4月22日	上川管内教育委員会連合会総会・研修会	旭	Ш	市	教育長	· 委員:	2名
平成31年4月23日	和寒町文化団体連絡協議会総会	町民	センタ	_	教育長		
IJ	わっさむそば研究会定期総会	公	民	館	教育長		
平成31年4月24日	学校管理職会議	公	民	館	教育長		
平成31年4月25日	三笠山大学入学式	公	民	館	教育長	· 委員	4名
令和元年5月2日	臨時開庁 (午前)	公	民	館	教育長		
令和元年5月7日	第3回町議会臨時会	議		場	教育長		
令和元年5月8日	全国町村教育長総会・研究大会(~10日)	東	京	都	教育長		
令和元年5月10日	三笠山夜桜まつり	ふれる	あいの	森	教育長		
令和元年5月11日	かたくり庵のつどい	片	栗	庵	教育長	・委員	.1名
令和元年5月15日	第6回教育委員会議	公	民	館	教育長	· 委員	4名

年月日	活 動 内 容	場	所委 員 名
令和元年5月17日	学校管理職会議	公 民 1	館 教育長
"	交通安全少年隊隊旗移讓式	町民センタ、	一 教育長
令和元年5月20日	町民大運動会監督・主将会議	公民 1	館 教育長
令和元年5月21日	1市2町ジュニアリーダー研修会議	公民 1	館 教育長
令和元年5月23日	上川教育局教育委員会訪問	公民 1	館 教育長
令和元年5月25日	和寒中学校体育祭	和寒中学	校 教育長・委員3名
II.	自衛隊第2師団音楽まつり	旭 川 ī	市教育長
令和元年5月29日	四者合同歓迎会	お多	幸 教育長・委員4名
令和元年5月30日	B&G連絡協議会総会	砂川	市教育長
令和元年5月31日	辞令交付式	役	場教育長
令和元年6月2日	和寒小学校運動会	和寒小学	校 教育長・委員3名
令和元年6月3日	辞令交付式	役	場教育長
11	企画会議	役	場教育長
令和元年6月5日	議会産業教育常任委員会	役	場教育長
令和元年6月7日	公立文教施設整備期成会定期総会	札幌	市教育長
令和元年6月10日	議会全員協議会	役	場教育長
"	第1回学校運営協議会	公 民 1	館 教育長
令和元年6月12日	㈱ゴールドウィンスキー贈呈	公 民 1	館 教育長
"	地域学校協働本部会議	公 民 1	館 教育長
令和元年6月14日	第7回教育委員会議	公 民 1	館 教育長・委員4名
II.	和寒町招魂祭前夜祭	忠 魂 碑 ī	前教育長
令和元年6月15日	和寒町招魂祭	忠 魂 碑 i	前教育長
11	1市2町ジュニアリーダー研修会議	総合体育り	館教育長
11	鳴呼ワットサム2019ビールパーティー	公 民 1	館教育長
令和元年6月18日	公民館運営審議会委員兼社会教育委員会議	公 民 1	館教育長
令和元年6月20日	第2回町議会定例会	議	場教育長
令和元年6月21日	第2回町議会定例会	議	場教育長
令和元年6月24日	学校管理職会議	公 民 1	館教育長
11	小中学校連携教育推進協議会		館教育長
11	上北六連和寒支部総会	三	徳 教育長
令和元年6月25日	地域公共交通会議	役	場教育長
令和元年6月26日	和寒町未来を拓く人づくり推進事業審査委員会	役	場教育長
11	青少年育成町民会議	公 民 1	館教育長
令和元年6月27日	運動公園パークゴルフ場オープンセレモニー	総合運動公	園 教育長
II.	国際交流研修事業事前説明会・事前学習会	公 民 1	館教育長
令和元年7月1日	企画会議	役	場教育長
令和元年7月2日	町民大運動会競技役員打ち合わせ会議	町民センタ	一教育長
令和元年7月4日	生活安全推進会議	町民センタ	一 教育長

年月日	活 動 内 容	場	所委 員 名
令和元年7月4日	社会を明るくする運動キャラバン	役 場 前	前 教育長
令和元年7月5日	上川管内代表決定戦柔道大会	旭川市	方 教育長
令和元年7月6日	第18回天塩川クリーンアップ大作戦	寒川橋周辺	型 教育長
令和元年7月7日	第58回町民運動会	総合運動公園	園 教育長
令和元年7月9日	上川管内教育委員会教育長会議	旭 川 〒	方 教育長
令和元年7月10日	北海道市町村教育委員研修会	札 幌 〒	方 教育長・委員3名
令和元年7月11日	北海道市町村教育委員研修会	札 幌 〒	方 教育長・委員3名
令和元年7月12日	公立学校職員永年勤続表彰伝達	公 民 食	官 教育長
IJ	教職員互助会レクリェーション大会	和寒中学村	交 教育長
IJ	町政懇談会(仲町自治会)	町民センター	- 教育長
令和元年7月22日	学校管理職会議	公 民 食	官教育長
II.	公立高等学校配置計画検討協議会	名 寄 戸	节 教育長
令和元年7月23日	教科用図書採択教育委員会協議会	東神楽	丁 教育長
令和元年7月24日	学校経営指導訪問	公民館・小中学村	交 教育長
令和元年7月28日	どんとこい!わっさむ夏祭り	ふれあいのもり	教育長
令和元年7月29日	札幌自由が丘学園三和高等学校後援会総会	公 民 食	官教育長
IJ	町政懇談会(三和·菊野自治会)	三和菊野自治会館	窜 教育長
令和元年7月30日	議会全員協議会	役場	易教育長
IJ	議会産業教育常任委員会	役場	易 教育長
IJ	町政懇談会(西和・福原自治会)	西和福原自治会館	窜 教育長
令和元年7月31日	町政懇談会(東山自治会)	東山自治会館	官教育長
令和元年8月2日	公立学校教員採用候補者選考検査	旭川市	教育長
IJ	企画会議	役場	易教育長
IJ	町政懇談会(中和自治会)	中和自治会負	官教育長
令和元年8月5日	町政懇談会(大通り自治会)	ひだまり	教育長
令和元年8月6日	第8回教育委員会議	公 民 食	官 教育長・委員4名
令和元年8月7日	町政懇談会(恵みヶ丘自治会)	恵みヶ丘自治会館	馆 教育長
令和元年8月8日	辞令交付式(外国語指導助手)	公 民 館	官教育長
JJ	町政懇談会(松岡・北原自治会)	松岡・北原自治会的	教育長
令和元年8月9日	災害対策本部設置	役場	易 教育長
11	町政懇談会 (若草自治会)	若草自治会食	官 教育長
令和元年8月10日	国際交流研修事業出発式	公 民 食	官 教育長
II.	大通りにぎわい祭り盆踊り大会	ふれあい駐車場	易 教育長
令和元年8月14日	国際交流研修事業帰町	公 民 飠	官 教育長
令和元年8月19日	第4回町議会臨時会	議場	易 教育長
II.	議会全員協議会	役場	易 教育長
"	町政懇談会 (三笠南自治会)	三笠南自治会館	官 教育長
令和元年8月20日	議会産業教育常任委員会	役場	易 教育長

年月日	活 動 内 容	場所	委 員 名
令和元年8月20日	三町合同学校経営研修会	幌 加 内 町	教育長
令和元年8月21日	課長会議	役場	教育長
"	三笠山大学学長杯パークゴルフ大会	総合運動公園	教育長
"	特別支援教育連携協議会	公 民 館	教育長
令和元年8月22日	学校管理職会議	公 民 館	教育長
令和元年8月27日	地域公開参観日	和寒小学校	教育長・委員1名
"	国際交流研修事業帰町報告会	公 民 館	教育長
令和元年8月29日	4団体議員・役員等親睦交流会	パークゴルフ場	教育長
令和元年8月30日	入札会(和寒小学校落雷被害復旧工事)	町民センター	教育長
令和元年9月1日	全日本玉入れ選手権開会式	総合体育館	教育長
令和元年9月2日	企画会議	役場	教育長
令和元年9月3日	議会産業教育常任委員会	役場	教育長
令和元年9月4日	教育委員による学校訪問	和寒小学校	教育長・委員3名
令和元年9月6日	体育協会長杯パークゴルフ大会	総合運動公園	教育長
"	新就業者の集い	公 民 館	教育長
令和元年9月9日	第9回教育委員会議	公 民 館	教育長・委員4名
令和元年9月11日	学校管理職会議	公 民 館	教育長
令和元年9月12日	叙勲伝達(故河崎茂 元北原小学校長 様)	旭 川 市	教育長
令和元年9月14日	和寒中学校学校祭	和寒中学校	教育長・委員1名
令和元年9月15日	和寒町ソフトテニス大会	総合運動公園	教育長
令和元年9月19日	議会全員協議会	役 場	教育長
JJ	第3回町議会定例会	議場	教育長
令和元年9月20日	第3回町議会定例会	議場	教育長
IJ	和寒町交通安全の集い	ひだまり	教育長・委員1名
令和元年9月21日	片平杯少年少女交流卓球大会	総合体育館	教育長
令和元年9月27日	教育講演会「ICT活用による日常授業の改善」	公 民 館	教育長
令和元年9月30日	辞令交付式	役場	教育長
令和元年10月1日	辞令交付式	役	教育長
JJ	企画会議	役場	教育長
JJ	第10回教育委員会議	公 民 館	教育長・委員4名
令和元年10月2日	上川北部地区教育委員会研修会	中 川 町	教育長・委員2名
令和元年10月5日	町民植樹祭	塩 狩 峠	教育長
令和元年10月6日	町民ロードレース大会兼スポーツチャレンジデー	総合体育館	教育長
令和元年10月7日	公立小中学校教職員人事推進会議	旭川市	教育長
"	体育協会との意見交換会	総合体育館	教育長
令和元年10月10日	上川管内教育委員会連合会教育長部会研修会	比 布 町	教育長
令和元年10月11日	上川管内教育委員会連合会教育長部会研修会	比 布 町	教育長
"	JA北ひびき給食食材贈呈式	役場	教育長
"	特別支援教育連携協議会推進会議	公 民 館	教育長

年月日	活 動 内 容	場	新委 員 名
令和元年10月14日	第14回和寒町長杯パークゴルフ大会	総合運動公	園 教育長
令和元年10月15日	議会全員協議会	役	場教育長
IJ.	第5回町議会臨時会	議	場 教育長
II.	工事箇所現地視察	町	为 教育長
令和元年10月16日	高齢者大学四町交流研修会	公 民 負	館 教育長
令和元年10月20日	和寒小学校学芸会	和寒小学	交 教育長・委員2名
令和元年10月22日	東山スキー場ヒルクライムレース	東山スキー	易 教育長
IJ	天皇陛下御即位奉祝祭	和 寒 神 礼	社委員1名
令和元年10月23日	学校管理職会議	公 民 的	館 教育長
11	旭川和寒会総会	旭 川 ī	市教育長
令和元年10月25日	全道町村教育委員会連合会教育長部会研修会	札 幌 ī	市教育長
令和元年10月26日	町職員採用2次試験	役	場教育長
令和元年10月29日	上川管内教育委員会連合会第2回委員研修会	東神楽	町 教育長・委員4名
令和元年10月30日	上川管内教育委員会連合会第2回委員研修会	東神楽	町 教育長・委員3名
令和元年11月1日	議会全員協議会	役	場教育長
令和元年11月3日	和寒町表彰式	公 民 的	館 教育長・委員2名
令和元年11月4日	町民文化祭芸能発表会	公 民 的	館 教育長
令和元年11月5日	企画会議	役	場教育長
令和元年11月6日	議会産業教育常任委員会	役	場教育長
令和元年11月7日	事務点検・評価報告書に係る第1回外部識見者会議	公 民 的	館 教育長
令和元年11月8日	和寒町教育研究会研究大会	和寒小学村	交 教育長
令和元年11月10日	剣淵町文化祭芸能発表会	剣 淵 🏻	町 教育長
令和元年11月13日	上川管内教育委員会連合会北部地区教育長研修会	美 深 『	町 教育長
令和元年11月14日	上川管内教育委員会連合会北部地区教育長研修会	美 深 『	町 教育長
IJ	勤労感謝祭	和寒神	社 教育長・委員3名
令和元年11月15日	通学合宿保護者説明会	公 民 的	館 教育長
令和元年11月17日	神輿会和寒やわら発会30周年記念式典	公 民 的	館 教育長
令和元年11月18日	未来を拓く人づくり事業審査会	役	場教育長
令和元年11月19日	北海道教育委員会教育部長視察	和寒小学村	· 教育長
IJ	事務点検・評価報告書に係る識見者意見書提出	公 民 的	館 教育長
IJ	特別支援教育連携協議会講演会	公 民 的	館 教育長
令和元年11月20日	議会決算審査特別委員会(~22日)	議	場 教育長
令和元年11月22日	体育協会表彰式	公 民 的	館 教育長・委員4名
令和元年11月26日	学校管理職会議	公 民 的	館 教育長
令和元年11月27日	令和2年度当初人事(校長・教頭)に係る教育長協議	旭 川 ī	市教育長
令和元年11月28日	総合計画庁内策定委員会	役	場教育長
令和元年11月29日	新年度予算編成会議	役	場教育長
令和元年12月1日	第37回全町ミニバレー大会	総合体育的	館 教育長
令和元年12月2日	議会全員協議会	役	場教育長

年月日	活 動 内 容	場	所	委	員	名
令和元年12月2日	議会産業教育常任委員会	役	場	教育長		
令和元年12月3日	企画会議	役	場	教育長		
"	第11回教育委員会議	公 瓦	: 館	教育長	· 委員	4名
令和元年12月4日	生活安全推進会議	町民セ	ンター	教育長		
令和元年12月5日	ふるさと給食試食会	和寒小	、学 校	教育長		
令和元年12月7日	東山スキー場安全祈願祭	東山ス	キー場	教育長	委員	2名
"	文化団体連絡協議会表彰式	公 瓦	と 館	教育長	委員	3名
令和元年12月8日	道新杯ミニバレー道北大会	総合体	育館	教育長		
令和元年12月11日	三笠山大学学生の主張発表会	公 瓦	と 館	教育長		
令和元年12月13日	議会全員協議会	役	場	教育長		
令和元年12月14日	職員採用面接試験	役	場	教育長		
IJ	鳴呼ワットサムウィンターパーティー2019	公 瓦	と 館	教育長		
令和元年12月16日	学校管理職会議	公 瓦	と 館	教育長		
JJ	総合計画審議会兼まちひとしごと町民創生会議	町民セ	ンター	教育長		
令和元年12月17日	和寒の未来を考える会	和寒小	、学 校	教育長		
JJ	上川管内教育委員会連合会教育長部会	旭 川	市	教育長		
令和元年12月19日	第4回町議会定例会	議	場	教育長		
令和元年12月20日	第4回町議会定例会	議	場	教育長		
JJ	議会全員協議会	役	場	教育長		
令和元年12月25日	第12回教育委員会議	公 瓦	と 館	教育長	 委員 	4名
JJ	総合教育会議	公 瓦	と 館	教育長	· 委員	4名
JJ	教育を語る会	お多	幸	教育長	· 委員	4名
令和元年12月30日	退職辞令交付式	役	場	教育長		
IJ	企画会議	役	場	教育長		
令和2年1月2日	東山スキー場50周年記念事業	東山ス	キー場	教育長		
令和2年1月6日	新年交礼会	町民セ	ンター	教育長		
JJ	第1回教育委員会議	公 瓦	と 館	教育長	· 委員	4名
令和2年1月8日	消防出初め式	役 場	計前	教育長		
令和2年1月9日	当初人事(一般)教育長協議	旭 川	市	教育長		
令和2年1月12日	成人式	公 瓦	と 館	教育長	 委員 	3名
令和2年1月18日	道教育大学六稜会叙勲受章祝賀会	旭川	市	教育長		
令和2年1月19日	北海道ジュニアスキー技術選手権ブロック大会	東山ス	キー場	教育長		
令和2年1月20日	第3回学校運営協議会	公 瓦	と 館	教育長		
令和2年1月22日	当初人事(校長・教頭)教育長協議	旭川	市	教育長		
令和2年1月24日	議会産業教育常任委員会	役	場	教育長		
"	議会全員協議会	役	場	教育長		
"	第1回町議会臨時会	議	場	教育長		
令和2年1月25日	全道ジュニアクロスカントリー大会	東山ス	キー場	教育長		
令和2年1月26日	U14インドアソフトテニス大会	総合体	育 館	教育長		

年月日	活 動 内 容	場	所	委 員 名
令和2年1月27日	学校管理職会議	公 民	館	教育長
令和2年1月28日	和寒町教育研究部会交流会	和寒小学	校	教育長
令和2年1月29日	第1回女性セミナー(町長との茶話会)	公 民	館	教育長
II.	第2回教育支援委員会	公 民	館	教育長
令和2年1月30日	議会全員協議会	役	場	教育長
"	和寒町体育協会参与会議	お多	幸	教育長
令和2年2月2日	極寒フェスティバル	ふれあいのも	りり	教育長
令和2年2月3日	企画会議	役	場	教育長
IJ.	第4回学校運営協議会	公 民	館	教育長
令和2年2月5日	生涯学習講演会(プログラミング超初心者教室)	公 民	館	教育長
令和2年2月9日	全町レディース・ミニバレー大会	総合体育	館	教育長
令和2年2月10日	第2回教育委員会議	公 民	館	教育長・委員4名
令和2年2月12日	議会産業教育常任委員会	役	場	教育長
令和2年2月13日	当初人事(一般)教育長協議	旭川	市	教育長
令和2年2月14日	士別地区交通安全祈願祭	士 別	十	教育長
JJ	特別支援教育連携協議会	公 民	館	教育長
令和2年2月16日	職員採用試験	役	場	教育長
令和2年2月18日	学校管理職会議	公 民	館	教育長
令和2年2月19日	第2回女性セミナー	公 民	館	教育長
令和2年2月21日	教育行政事務打合せ	札幌	市	教育長
令和2年2月24日	和寒東山ジャイアントスラローム大会	東山スキー	場	教育長
令和2年2月25日	和寒中学校全国スキー大会出場報告	役	場	教育長
IJ	新年度予算記者発表	議	場	教育長
IJ	新型コロナウィルス感染対策庁内危機対策会議	役	場	教育長
令和2年2月26日	和寒中学校3年生キャリア教育講話	和寒中学	校	教育長
IJ	小中学校卒業式コロナウィルス感染対策打合せ	公 民	館	教育長
令和2年2月28日	第1回町議会定例会	議	場	教育長
IJ	議会全員協議会	役	場	教育長
IJ	退職辞令交付式	役	場	教育長
令和2年3月2日	臨時校長会	公 民	館	教育長
IJ	緊急上川管内教育委員会教育長会議	旭 川	市	教育長
令和2年3月3日	総合教育会議	公 民	館	教育長・委員4名
"	第3回教育委員会議	公 民	館	教育長・委員4名
令和2年3月5日	第1回町議会定例会	議	場	教育長
令和2年3月6日	札幌自由が丘学園三和高等学校卒業証書授与式	三 和 高	校	教育長
令和2年3月9日	第1回町議会定例会	議	場	教育長
令和2年3月10日	議会予算審査特別委員会	議	場	教育長
令和2年3月11日	議会予算審査特別委員会	議	場	教育長
令和2年3月12日	議会予算審査特別委員会	議	場	教育長

年月日	活	動	内	容	場			所	委	員	名
令和2年3月13日	和寒中学校卒	業証書授	多与式		和	寒!	中 :	学 校	教育長		
"	第1回町議会定	例会			議			場	教育長		
"	議会全員協議会	<u></u>			役			場	教育長		
令和2年3月18日	和寒小学校卒業	美証書授与	F式		和	寒]\ <u>_</u>	学 校	教育長		
令和2年3月23日	学校管理職会認	養			公	J	民	館	教育長		
"	第4回教育委員	会議			公	J	民	館	教育長	・委員	 4名
令和2年3月24日	教職員退職辞令	今交付式			公	J	民	館	教育長		
"	新型コロナウィ	ィルス感染	2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2	仓機対策会 詞	養 役			場	教育長		
令和2年3月25日	北原交流展示館	官ギャラリ	リーさわら	び館運営会調	養 公	J	民	館	教育長		
"	課長会議				役			場	教育長		
令和2年3月26日	和寒町教育特員	区学校審議	養会		公	J	民	館	教育長		
令和2年3月27日	臨時校長会				公	J	民	館	教育長		
JJ.	町議会全員協調	養会			役			場	教育長		
令和2年3月31日	退職辞令交付式	t			議			場	教育長		

4. 教育委員会議の点検評価

(1) 教育委員会議について

条例や規則の改廃、各種委員の承認等、事務的な手続きによるもの以外 については、各委員の高い識見と課題解決に向けた積極的な発言により、 円滑な審議を行いました。

また、事務局では、議案の内容を吟味・精査し、必要に応じ、説明資料を提示するなど、適正な審議が行えるよう努めました。

(2) 学校訪問について

例年、小学校又は中学校を訪問し、それぞれの学校の取組について校長、教頭から説明を受けた後、児童生徒の学習の様子を見学し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等、様々な視点で学校の良さや抱えている諸課題等を把握し、更に、学校給食についても、自ら試食体験をすることで、安全安心な給食を確認しています。

(3) 各種行事、会議、研修会等への参加について

小・中学校の入学式、運動会、体育祭、学芸会、学校祭、卒業式などの 学校行事には、積極的に参加するとともに、教育委員会が主催する教職員 辞令交付式をはじめ社会教育各種事業や各種大会等へ参加し、更に、全道、 上川管内、上川北部地区の委員研修にも参加し、教育委員としての自己研 鑽に努めています。

5. 教育委員会の課題と対策

平成31年4月から、教育行政の責任体制の明確化と教育行政の効果的な推進を図るため、教育委員会の次長職を廃止し、教育推進課を設置しました。

今後も持続可能な財政運営を行うため、平成30年度から事務事業について点検を行った結果、「現行継続」50項目、「見直し」16項目、「縮小」2項目、「統合」2項目となったところであり、この見直しの方向性に基づき、

令和2年度から反映できるものから順次実施していきます。また、使用料・手数料等の見直しでは、公民館使用料等12項目について、令和2年4月からの改定を行っています。

教育委員会議は、原則、毎月1回開催することとしていますが、令和元年度も、予定どおり開催することができました。各委員にあっては大変多忙な時期もあることから、できるだけ早い段階で開催日を決定するよう努めています。

また、常に定められた議案審議のみならず、委員自身が日頃から感じている教育に対する諸課題や問題点について共通な課題として捉え、全員で協議しながら早急に解決できるもの、時間をかけて議論を重ねていくものについて整理しながら教育環境の整備充実に努めています。

子どもたちの教育環境の整備については、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、更に、平成23年度から25年度の3年間実施した小中学校ジョイントプロジェクト事業を継承しながら小・中学校連携教育推進協議会、町教研及び学校が連携して学力向上や生活習慣見直し等について、継続した取り組みを進めています。

学校での「いじめ」が社会問題となっていますが、早期発見、早期解決を 図るため「いじめ問題対応マニュアル」を作成し、アンケート調査等を実施 するなど問題となった学年だけではなく、教育委員会と学校が情報を共有し、 学校全体で取り組むこととしており、児童・生徒の小さな変化を見逃すこと のないように努めています。

なお、国のいじめ防止対策推進法の施行に伴い、平成 26 年に「和寒町いじめ防止基本方針」を定め、いじめの未然防止、早期発見、早期解決のための対策に関する基本的な方針といじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に進める環境づくりにも努めてきましたが、道のいじめ防止基本方針のいじめの定義の明確化などの改定に合わせて、「和寒町いじめ防止基本方針」の改定を行っています。

新学習指導要領が小学校では 2020 年度から、中学校では 2021 年度から全面実施されることから小学校の中学年の外国語活動、高学年での外国語科の導入など外国語教育の充実、プログラミング教育を含む情報活用能力の育成、道徳の「特別の教科」化など教育内容の変更に早急な対応が求められています。

これまでの学習指導要領は、「何を学ぶか」が中心でしたが、新学習指導要領の特徴は、「何を学ぶか」に加えてその結果「何ができるようになるか」、 さらには「どのように学ぶか」というところまで提唱されています。

このどのように学ぶかにはICTの活用も含まれており、新学習指導要領では「視聴覚教材、コンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、児童・生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動のさらなる充実を図ること」という表現が随所に使用されており、これまでパソコン教室に1人1台のパソコンの導入をはじめ、各教室に実物投影機の導入、電子黒板等の導入を進めてきましたが、文部科学省が進める令和元年度補正予算に計上されたGIGAスクール構想は、1人1台の学習用コンピュータ環境と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するものであり、新型コロナウィルスの感染拡大を防止するため、2月 27 日から 4月 5日まで臨時休業となったことで、オンライン学習が注目され、当初 4 年間で整備する計画であったものが、令和 2 年度中の整備に前倒しされたことで、急速にICTを活用できる環境の整備が進んでいますので、「わかる授業」の実現のため、これまで培ってきたノウハウを活かし、ICTの活用を進めていきます。

教職員は教職員給与特別措置法により、基本給に4%が加算されるのみで、時間外手当が支給されないことから時間外勤務の意識が希薄になり、長時間労働に繋がっているとし、勤務時間を客観的に記録することが求められていることから、令和元年5月からICカードにより勤怠管理システムを導入し、労働時間の管理を行い、長時間労働の是正に取り組んでいます。今後は年単位で労働時間を増減させる変形労働時間制の選択的導入や教員の業務範囲の見直し、教職員の業務を援助するスクールサポートスタッフの配置が予定されていますので、教職員の働き方を見直し、子どもたちに対して効果的な教育活動が行えるよう努めます。

Ⅲ 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検評価について

1. 学校教育関係評価項目

主 要 施 策 名		重点項目
1	学習指導の充実	① 「確かな学力を身につけ、豊かな心を育み、 健やかで逞しい心身の発育」を目指す
2	家庭・地域と連携した教育推進	① 情報公開と学校評価による成果を検証し、よりよい学校運営の推進
3	特別支援教育の充実	① 個々に対応した教育実践と支援員の活用
4	国際理解教育の推進	① 外国語指導助手派遣事業の推進② 中学生国際交流事業台湾研修
5	教育相談窓口の整備	① 教育相談窓口の開設と推進
6	学校給食の提供 食育の推進	① 学校給食の推進
7	教育学習等の環境整備	① 学校教材の整備② 和寒町高等学校生徒通学費補助③ 「土曜日の教育活動」の取組
8	廃校施設の活用 札幌自由が丘学園三和高等学校への 支援	① 小中学校廃校跡地の活用② 三和高等学校への支援

施策の評価(1)

《総合計画施策体系の主要施策名》 学習指導の充実

《重点項目》

「確かな学力を身につけ、豊かな心を育み、健やかで 逞しい心身の発育」を育てる

《令和元年度取組の概要》

- ① 基礎的、基本的な知識の定着と課題解決的な学習や探究活動を重視した授業づくり
- ② 教職員の授業力や生徒指導の力量を高める
- ③ 読書推進活動の取組
- ④ 安心、安全信頼される学校づくり
- ⑤ 小中学校連携教育
- ⑥ 新しい学びへの対応推進事業
- ⑦ 「木育」の取組
- ⑧ フッ化物洗口の実施

《実施状況》

- ① 確かな学力を身に付け基礎的・基本的な学習内容の定着を図るため、学ぶ楽しさや分かる授業の工夫に努めるとともに、加配教員を活用して、少人数指導や習熟の程度に応じた指導を行うなど、定着の状況に応じた指導の充実に向けて、きめ細やかな指導に努めています。
- ② 町教研公開研究会を実施し、小中学校の全教職員が指導体制や指導方法の充実に向けて協議を深め、小中学校が連携した指導を行えるよう努めています。小学校と中学校で校内研修のテーマを共有し、子どもの実態に応じた指導方法の改善・充実を図る研修を進めています。児童、生徒ひとり一人に対し、わかる喜びが実感できる授業、自ら進んで学ぶ意欲を持たせる授業に努めています。
- ③ 平成28年度からの「第2次和寒町子ども読書活動推進計画」に基づき、町立図書館と連携し、読書推進を図っています。小学校では継続して毎週月曜日の朝学習の時間を読書に決めて全校一斉に取り組み、また学期に1度、「読書強化週間」を3週間設定し、その期間に読んだ本について「読書紹介カード」を作成し、全校児童のカードを多目的ホールに掲示するなど、読書習慣が確立される取り組みを行ってきました。図書館とは、ブックトーク事業や情報交換を継続し行っています。
- ④ 学校内部評価や保護者等の外部評価に関し、平成30年度に学校評議員制度から学校運営協議会制度へ移行し、活用しながら学校運営等の改善に努めています。いじめや体罰については、学校全体の問題と捉えて学校・教育委員会が連携しながら問題解決に努めています。
 - また、スクールバスについては、児童生徒が二度と悲惨な事故に遭わないよう、学校での指導及び教育委員会職員による乗車指導を継続的に行い、また、安全な運行が図られるよう関係課との連携を図ってきました。
- ⑤ 北海道学力向上トリプルUP事業「連携力UP」小・中学校ジョイントプロジェクト事業の道教委指定終了後、教育委員会、学校で連携しながら小中学校連携推進協議会を継続。長期休業期間に「チャレンジテスト」、「プリントまなぼう」「礎」を活用した、国語と算数の学習サポート事業を実施。学生サポーター派遣事業を活用し、個に応じた指導充実が図られるよう実施した。

学習サポート実施日: 夏季休業令和元年7月26、29、30日 (3日間) 冬季休業令和元年12月23、24、26日 (3日間)

⑥ 平成26年度から平成28年度の3ヵ年事業「学ぶ力を育む推進事業」では、授業力向上のため、教育委員・小中学校教諭が教育事情先進地視察を実施。平成29年度からは、新学習指導要領に対応するため、各校教諭がそれぞれ先進地視察を実施。

小学校 2 名、中学校 2 名 (授業力向上・ I C T 教育) 中学校 4 名 (道徳教育)

・教育力向上を目指し、近郊の小中学校教職員も参加し、教育講演会を実施。

実施日:令和元年9月27日(金) 参加者 70 名

講 師:前札幌市屯田小学校長 新保 元康 氏

(ICT 活用による日常授業の改善)

- ・平成27年度より教育アドバイザーを1名設置し、教育活動等に対する支援や助言、子どもの学びの充実に向けた方策の企画・立案により学習環境の整備を図るため、小学校で学習支援。
- ・毎週木曜日の放課後に「ステップ・アップ教室」を実施 66 名登録。
- ⑦ 本町の豊かな自然体験や森林に関する体験活動として、「木育」を実施。産業振興課と 小学校の共催により、低学年、中学年、高学年毎にテーマを決めて実施。
- ⑧ 平成28年度から、効果的な歯科保健対策としてフッ化物洗口事業を開始。学校歯科医、学校薬剤師と連携を図り実施。小学生を対象に希望制により、週1回(水曜日)フッ化物洗口液でのうがいを行い、むし歯予防に努めている。

実施人数:113人/149人中 76%

《点検評価》

- ① 小学校では朝学習の時間を学びタイムと称し、基礎的・基本的な学力の向上が図られ、 また、家庭学習に取り組む子どもが増えてきました。中学校では、学習規律の徹底やTT の導入から自ら学ぶ姿勢が見えています。
- ② 小・中学校が、研修テーマを共有し、小中学校が連携して指導方法や指導体制の充実に向けて取り組むことができるよう教員の授業力向上が図られています。
- ③ 町立図書館司書が選定した図書館からの配本を各教室に配置し、ブックトークを通して本の面白さや読書の楽しさを伝える工夫をし、読書習慣の確立を図っています。
- ④ 学校の内外部評価の定着化が進み、更には学校運営協議会制度の活用により、一定の学校運営等の改善が図られました。いじめや体罰のない学校づくりを目指してアンケート調査で事件の掘り起こしをして早期解決を図りました。
- ⑤ 学校では児童生徒の現状課題を見据えて、教職員が活発な意見交換を行い、指導方法や 指導体制の充実に向けて協議することができた。また、冬休みには学生サポーターによ る学習サポート事業に取組み、児童生徒の学習意欲の向上を図ってきました。義務教育 9年間を見通した基本問題集「礎」の新学習指導要領に基づいた内容に改訂し、一層の 基本学力の向上に向けた取り組みを行っています。更に、小学生を対象とした通学合宿 に取り組み、正しい生活リズム定着、家庭学習への一定の効果がありました。
- ⑥ 学力テスト全国上位の学校視察や全道全国規模の視察研修する機会を増やし、教職員の授業力、教師力向上のための充実を図りました。 また、ステップアップ教室では、基礎・基本の学習の定着を図っており、競争心、集中力が増し、基礎学力が形成されてきており、計画性も徐々に育成されています。
- ⑦ 森の中で、製作活動やゲームを取り入れた体験活動を行い、木に対する親しみや理解を 深めることができ、継続して取組を実施していきます。
- ⑧ 各関係機関と連携を図り、保護者の理解のもと、円滑に実施することができました。今 後も歯科保健対策として普及促進を図っていきます。

《今後の課題と対応方法》

します。

- ① 学力検査結果などによる現状を検証する中から、基礎的学習内容の指導方法の研究を進め、児童生徒一人ひとりに対しわかる喜び、できる喜びが実感でき、自ら進んで次のステップへの意欲が沸き立つよう授業内容の工夫に取り組んでいきます。
- ② 校内研修の充実を図ると共に、先進校などの実践例に学び、課題解決に向けた講習会、研修会等への参加により更なる教員の資質向上が求められます。
- ③ 小中学校の全校一斉朝読書の継続や、学校図書の充実を図るとともに、町立図書館と連携した読書推進により言葉を学び、感性を磨き表現力が高まるよう読書推進活動事業を推進していきます。
- ④ 学校の内外部評価など学校運営協議会を活用し、今後も一層の学校運営等の改善に努力します。 いじめや体罰に対する対策マニュアルをはじめ、「いじめ防止基本方針」に基づき対応
- ⑤ 小中学校、社会教育の連携のもと、家庭や地域の協力を得ながら、実践の成果を踏まえ、 定着へ向けた取り組みへと進めていきます。教職員による共通理解を一層深めると共 に、指導方法や体制を確立させ、全国学力・学習状況調査やCRT検査の分析により明 らかになった課題については、義務教育9年間を見通した指導計画の改善に生かすとと もに児童生徒の着実な学力向上を図ります。また、家庭における規則正しい生活習慣、 家庭学習を身につけるために作成した家庭学習の手引きの活用取り組みを継続します。
- ⑥ 学力向上の体制とともに体力向上に向けた取組が必要です。
- ⑦ 森に親しみを持ち、森林の必要性や役割の理解、また、森を守り育てることの大切さを 学び、自然やふるさとを大切にする心を養うため、取組を継続していきます。
- ⑧ 継続して実施し、永久歯のむし歯予防に努めると共に、一部未実施者に対し、今後も理解を得られるよう継続して周知を行っていきます。

施策の評価(2)

《総合計画施策体系の主要施策名》 家庭・地域と連携した教育推進

《重点項目》

情報公開と学校評価による成果を検証し、より良い学校運営の推進

《令和元年度取組の概要》

- ① 保護者等アンケート調査による外部評価
- ② 学校運営協議会制度の活用により学校運営等の改善
- ③ 教育活動や学校経営の積極的な情報公開に努める

《実施状況》

- ① 保護者アンケートを実施し、児童生徒の学習向上の成果などの学校教育活動の評価を行い、学校運営等における改善に努めています。
- ② 学校運営協議会による会議を年4回開催し、目標設定・中間報告・年度末評価を実施。
- ③ 地域公開参観日の実施、学校だよりを定期的に発行し全町民への広報活動を実施。また、 各学校のホームページにより情報公開を行っています。

《点検評価》

- ① アンケートにおいて、基礎基本の定着や家庭学習の定着について、生徒・保護者そして 職員の3者からの課題をもとに、次年度の具体的取組を検討しています。
- ② 学校運営協議会委員による意見、評価により、学校が地域住民や保護者の意向を把握し、地域等と連携を図っていくことで、学校活動改善等に繋がっています。
- ③ 授業参観等の学校公開、学校だよりの定期的な発行やホームページにより情報公開の充実を図っています。

- ① 地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携を密にし、多様な情報を発信しながら特色ある教育活動を展開することに努めます。
- ② 平成30年度から学校運営協議会制度へ移行し、今後も地域に開かれた学校に発展させ、地域とともにある学校を目指し、協議会で熟議を重ね、和寒町の目指す子ども像を地域と共有し、地域と一体となった学校づくりの仕組みを整えていきます。

施策の評価(3)

《総合計画施策体系の主要施策名》 特別支援教育の充実

《重点項目》

個々に対応した教育実践と支援員の活用

《令和元年度取組の概要》

- ① 小学校4教室(知的、言語、情緒、病弱)と中学校2教室(知的、情緒)の設置
- ② 特別支援員を小学校に2名、中学校に1名配置
- ③ 特別支援連携協議会、校内委員会の設置による支援体制の整備
- ④ 「和寒版子育てファイル」の活用

《実施状況》

- ① 特別支援学級は、それぞれに個別の指導計画を立て指導を実施。通常学級に在籍する特別な支援の必要な児童については、特別支援教育コーディネーターを中心に全教職員の共通理解のもと、協力学級担任との連携支援体制を組んでいます。
- ② 小学校の低学年、高学年に各1名支援員を配置、中学校には1名配置し、学校の支援体制づくりの充実を図っています。
- ③ 特別支援連携協議会を定期的に開催し、情報の共有を図った。また、パートナーティーチャーとして美深高等養護学校あいべつ校教員の小学校への定期的な訪問、上川管内専門家チームによる、小中学校での保護者相談、巡回相談を実施。
- ④ 特別支援連携協議会が中心となり、平成30年度に「和寒版子育てファイル」を作成し、配布した。平成31年4月から各学校・保育所・保健係各種乳幼児健診にてファイルの活用を行っています。

《点検評価》

- ① 和寒町教育支援委員会での協議を受け、個々の状態に応じた教育支援を行えるよう教育委員会で特別支援学級の設置を行っています。
- ② 通常学級に在籍し支援を要する児童生徒に対し、声かけ等を行い支援が図られています。
- ③ 連携協議会において、支援を必要とする児童生徒の状況や指導方法の情報を共有し、対応策を検討することができています。
- ④ 和寒町としてオリジナルの子育てファイルを作成配布することにより、切れ目ない支援を目指し活用、推進を図ることができました。

- ① 関係機関との連携を図り、個々の実態把握と適切な相談・支援体制を確立し、ひとり一人に応じた教育の充実を図っていきます。
- ② 今後も小中学校に支援員を配置し、より安定した学級運営を図ります。
- ③ 今後も連携協議会での情報共有を継続させ、必要な支援を検討していきます。
- ④ 家庭と各関係機関が連携し、子どもの育ちをサポートしていくため「和寒版子育てファイル」を活用しながら、各関係機関が共通理解を図り、連携した支援を行っていきます。

施策の評価(4)

《総合計画施策体系の主要施策名》 国際理解教育の推進

《重点項目》

「外国語指導助手派遣事業」の推進 中学生国際交流事業台湾研修

《令和元年度取組の概要》

- ① 平成29年度から和寒町単独でALTを任用し、町内小中学校、保育所に派遣
- ② 国際交流研修事業として中学2年生を台湾での海外研修に参加

《実施状況》

- ① 国の「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JET プログラム)を活用し、和寒町単独で ALT を任用しました。週2日小学校、週3日中学校へ派遣し、外国語指導に当たっています。また、保育所に月1回派遣、毎月1回土曜日に、小学生向けジュニアイングリッシュ講座を開講し、外国語に親しむ機会を設定しています。
- ② 国際交流研修事業は、8月10日~8月14日(4泊5日) 生徒22名参加

《点検評価》

- ① 平成28年度まで小中学校各1日の派遣でしたが、単独配置することによりALTとの授業時数の増加が図られました。外国語に親しみ、触れ合う時間が生きた英語に触れることにより、より一層外国文化、生活、習慣などを学び、コミュニケーション能力の育成が図られました。
- ② 台湾という国のことを直接触れることで台湾の文化や歴史、風土とその暮らしぶりを肌感覚で知ることが出来、また、現地の学校の生徒との交流でお互いの理解と友好の気持ちが芽生えました。さらに、研修を通して集団生活についてルールとマナーの大切さを学んだことは生徒達にとって大きな成果となりました。

- ① 今後もALTの専任化を図り、小学校では、身近なコミュニケーション能力の素地を養い、中学校では、学ぶ語数が増加するなど聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能をバランスよく育成強化を目指します。また、新学習指導要領の改定に基づく、小学3年生からの英語活動に対応するため、施策を講じていきます。
- ② 子どもたちが広い見識と豊かな感性や国際感覚を育み、大きな夢と希望を持った健全な心身の成長に役立つことから、中学2年生全員を参加対象とし、引き続き台湾での交流を充実させ、生徒間の相互交流に結びつく事業を展開していきます。

施策の評価(5)

《総合計画施策体系の主要施策名》 教育相談窓口の整備

《重点項目》

教育相談窓口の開設と推進

《令和元年度取組の概要》

- ① 和寒町教育委員会教育相談電話の開設(教育相談ホットライン)
- ② 教育委員、教育アドバイザーによる教育面接相談の実施

《実施状況》

- ① 和寒町教育委員会教育相談電話実施と「ホットラインカード」を配布(全児童生徒・保護者)
- ② 教育 面接相談を毎月19日に実施(年12回)

《点検評価》

- ① 児童、生徒、父母たちがどんな些細なことでも、いつでも担任や先生方の誰にでも相談できるよう配慮していますが、教育委員会でも積極的にご相談できるよう、電話相談体制を開設しており、常に適切な相談体制を維持し、対象者にとっては窓口が開設されている安心感を提供していることから一定の評価ができます。
- ② 平成28年度から教育アドバイザーが相談員に加わり実施しており、教育相談体制の強化を図っています。

- ① 身近なホットラインとして気軽な利用を呼びかけています。年間で数回の利用に留まっていますが、今後も継続して行う必要がありますので、保護者への認知度を高める工夫や相談者側にたった利便性について検討する必要があります。
- ② 相談日は毎回児童生徒を通して保護者に案内をしていますが、相談は数件と少ない状況にあります。問題はいつ起こるかわからず、常に対応できるよう今後も継続して実施していきます。

施策の評価 (6)

《総合計画施策体系の主要施策名》 学校給食の提供 食育の推進

《重点項目》

学校給食の推進

《令和元年度取組の概要》

- ① 士別市学校給食センターから和寒小中学校に給食の提供
- ② 士別市職員栄養士による食育指導の実施
- ③ 学校給食費徴収金3割軽減

《実施状況》

- ① 小学校: 児童教職員 178 名 30,958 食 中学校: 生徒教職員 102 名 16,496 食
- ② 食に関する栄養指導の実施
- ③ 学校給食費 町負担額 小学校 1,812,132 円 中学校 1,062,080 円 計 2,874,212 円

《点検評価》

- ① 士別市給食センターでは衛生管理の徹底に努められ、安心・安全な給食の提供がされ、 一定の成果を上げているものと評価できます。
- ② 学校給食センターの栄養教諭派遣授業により、児童の食に対する理解を深めることができました。また、配食作業における衛生管理指導や食事マナー指導は実践できています。
- ③ 3割を助成することで、保護者の負担軽減が図られています。

- ① 給食については、異物混入等事故が発生しないよう衛生管理の徹底に努めるとともに、 食物アレルギー等を有する児童・生徒に十分留意しながら、安全で安心な給食が提供さ れるよう努めていきます。
- ② 食育については、学校菜園の有効活用や体験学習などをとおして、食を育てる教育から 理解を深めるとともに、朝食の大切さやバランスのとれた正しい食生活が守られるよう、保護者の理解と協力、連携を図りながら、健全な食生活の推進を図っていきます。
- ③ 和寒町産や士別産などの地元の食材を使用したふるさと給食を年8回実施しており、今後も実施していくよう士別市給食センターに要望していきます。
- ④ 3年間の時限措置として開始した負担軽減事業は、30年度以降も継続して実施し、保護者の負担軽減を図っていきます。

施策の評価 (7)

《総合計画施策体系の主要施策名》

教育・学習等の環境整備

《重点項目》

- ① 学校教材の整備
- ② 和寒町高等学校生徒通学費補助
- ③ 「土曜日の教育活動」の取組

《令和元年度取組の概要》

- ① 一般教材備品購入、学校図書備品購入
- ② 和寒町高等学校生徒通学費補助
- ③ ジュニア・イングリッシュ講座、イングリッシュ・デイ・キャンプの実施

《実施状況》

- ① 一般教材備品、学校図書備品の整備
- ② 高校生の通学費の一部について補助し、計76名に対し補助を実施。
- ③ 小学1年生から6年生を対象に英語を母国語とする講師による「ジュニア・イングリッシュ講座」を月1回実施し、低学年13名、高学年12名 計25名が登録、参加。中学生を対象に、令和2年1月8日から10日の3日間イングリッシュ・デイ・キャンプを開催し、中学生2名の参加。

《点検評価》

- ① 学校の要望に応じた備品の整備を行い学習環境の整備充実を図っています。
- ② 通学費の補助により保護者の負担を軽減することが出来ました。
- ③ 外国人講師による発音やイントネーションなど、生きた英語を自然と吸収でき、英語に慣れ親しみながらコミュニケーションを図ろうとする姿勢が育ってきています。

- ① 今後も効果的に指導できる教材の整備を進めていきます。また、学校図書備品は、計画的に整備を行ったことで蔵書数は標準冊数に達していますが、今後も図書館司書、図書ボランティアと連携協力しながら、小中学校の図書室が利用しやすい環境づくりと蔵書の充実に努めていきます。
- ② 今後も継続し、高校生の通学費に係る経費の負担軽減を図っていきます。
- ③ ジュニア・イングリッシュ講座、イングリッシュ・デイ・キャンプも継続して実施し、 英語を楽しみながら学びコミュニケーション能力の素地を高めていけるよう内容等充 実を図っていきます。

施策の評価(8)

《総合計画施策体系の主要施策名》

廃校施設の活用 札幌自由が丘学園三和高等学校への支援

《重点項目》

小中学校廃校跡地の活用 三和高等学校への支援

《令和元年度取組の概要》

- ・現在の利用状況
 - ・旧三和小学校:構造改革特区認定による株式会社立の高等学校の設置
 - ・旧中和小学校:家具工房たいむ(個人貸付)
 - · 旧北原小学校:北原交流展示館
 - ・旧中学校第2体育館:チップ原料製造工場
 - ・平成28年度~旧中学校校舎(大会議室)を郷土資料の保管場所として活用
 - ・札幌自由が丘学園三和高等学校後援会 (平成28年設立) による支援を実施

《実施状況》

- ・ 旧三和小学校:札幌自由が丘学園三和高等学校は、月1回の対面授業や夏・冬と2回、 和寒の自然や行事をスクーリングとして活用、町内の事業所の協力を得て職業体験を実 施し、実践発表会の公開の場を2月に設けています。また農業体験やカヌー体験など各 種体験学習も行っています。
- ・ 平成 25 年度から東京のフリースクール「東京シューレ」と連携し、王子学習センターと 新宿学習センターを開設、平成 28 年度に流山学習センターが開設され、夏・冬に和寒 町のフィールドを活用したスクーリングを実施。
- ・ 平成28年3月に設立した札幌自由が丘学園三和高等学校後援会により情報の共有・連携強化を図っています。

《点検評価》

スクーリングにおける体験学習や地域行事への参加を通じ、都市部に暮らす若者たちに地 方の良さや生徒と町民が交流を図り、その体験が進路に大きな示唆を与えたという生徒もい て、体験学習や地域行事への参加が大きな成果となっています。

- ・ 旧中学校跡地活用については、今後も関係機関や町民のご意見を頂きながら活用の方向 性をまとめていかなければなりません。
- 町外から移住し施設を利用されている関係者に対する支援をどのように図っていくか、 また、長く利用していただくための方策や地域との関係も合わせて検討を行います。
- ・ 今まで農業体験を受入れてきた三和菊野地区の負担が大きくなっており、後援会によって夏季・冬季スクーリング、職場体験、郷土の学習などにおける受け入れの調整を行うなど、今後も新型コロナウイルス感染症予防対策にも努めながら、連絡調整や情報交換を行い、協力して行っていきます。

2. 社会教育関係評価項目

主 要 施 策 名		重点項目			
1	うるおいのある地域づくりと人づく	①子どもの健やかな成長・発達のための家庭教育			
	りをめざす社会教育活動の振興(家	と子育て支援の充実			
	庭・地域の教育力の向上への支援と充	②地域で子どもたちを守り育てる環境づくりの			
	実)	促進			
2	社会教育活動の充実	①生涯各期における学習活動の促進			
		②町民参画や協働による社会教育活動の充実			
3	社会教育推進と文化振興のための基	①生涯学習環境の整備活用と人材育成			
	盤整備				
4	豊かな心を育む文化活動の振興(芸術	①芸術文化活動の充実			
	文化活動の充実)				
5	郷土文化の継承	①文化財の保全と活用の推進			

施策の評価(1)

《総合計画施策体系の主要施策名》

うるおいのある地域づくりと人づくりをめざす社会教育活動の振興(家庭・地域の教育力の向上への支援と充実)

《重点項目》

- ① 子どもの健やかな成長・発達のための家庭教育と子育て支援の充実
- ② 地域で子ども達を守り育てる環境づくりの促進

《令和元年度取組の概要》

- ① 地域の人材の知識や学習の成果を生かし、子育て世代を対象にした学習・体験活動の充実。
- ② 子育て支援センターや図書館などと連携し、子育て支援や家庭教育に関する情報の共有と家庭教育の推進
- ③ 学校やPTA、地域と連携・情報共有しながら、子ども達の望ましい生活習慣の定着に努める
- ④ 子ども安全推進事業や学校支援地域本部事業の理解啓発と町全体で子ども達を守り育てる環境づくり

《実施状況》

- ① 小中ジョイントプロジェクト事業
 - ・通学合宿:小学4~6年生を対象に子ども達の望ましい生活習慣の定着を図る通学合宿 「わっとさむスクール」の実施

11月19日(火)~22日(金)3泊4日 8名参加

- ・子育て講演会:地域医療相談室"風"代表 小銭 寿子 氏「地域でささえる子ども・ 子育て」 令和元年11月19日(火) 参加者33名
- ・学習サポート事業:冬休み期間中に、小学4年生~中学3年生を対象に学生ボランティアを活用した学習サポート事業を小中学校で実施。

参加者: 冬休み 小学生 78 名 中学生 40 名 ボランティア 6 名 3 日間 ※夏休みは学生ボランティアの参加無し

- ② こどもの安全見守り等活動
 - ・広報誌等を活用し、こどもの安全見守り隊等の活動PRとボランティア募集を実施。
 - ・こどもの安全見守り隊による街頭指導日、登下校時、活動強化指定日(毎月5の付く日)の見守り活動の実施。

こどもの安全見守り隊登録者:16名

・子ども達の緊急避難場所としての「こども110番の家」(のぼりやステッカー)活動や 事件の抑止効果のための「にこにこパトロール隊」活動の実施。

こども110番の家(のぼり)設置数:44箇所

(ステッカー) 設置数:82箇所(事業所39、一般家庭43)

にこにこパトロール隊協力者数:個人44名、事業所13社

・学校支援ボランティアによる授業の補助支援活動(水泳、スキー授業)及び環境整備等 の実施、学校支援ボランティア研修会への参加。

ボランティア登録者数:90名

・三笠山大学(高齢者大学): 大学生が生活課授業「昔の遊び伝承」に協力する等の各種小学校行事に参加。(和寒小学校との姉妹校提携協定)

《点検評価》

① 通学合宿に参加した子ども達8名は、異年齢での集団生活の中で規則正しい生活を実践できたことで、「生きる力」を育み、相手を思いやり協力する大切さやテレビやゲームに触れずに、望ましい生活習慣について考えることができました。また、今回もスポーツ協会との連携事業として総合体育館・研修館「楡」での研修・宿泊を1泊取り入れています。子ども達には体を動かすこと、運動の楽しさを学ぶ良い機会となりました。

冬休み学習サポート事業で、教員、学生ボランティアの学習サポートを受け、復習や問題集に取り組み学習することができ、学校授業とは別の角度から勉強の楽しさや学習習慣の定着を図ることができました。

② 子ども達の登下校時の安全見守り活動が、地域住民によるボランティアで実施され、子ども達の安全を確保することができており、子ども達とのあいさつを通して交流を深めることができました。(あいさつ運動の実施)

学校支援ボランティアによる授業の支援活動や環境整備活動を実施し、地域の教育力を生かせる場ができています。「子ども110番」ステッカーを作成し、大通りや国道、通学路等の一般家庭、商店、会社等に協力依頼し、82箇所で掲示をすることができました。

子どもたちの通学路における安全確保のため、町内の交差点などの危険箇所を示した「和寒小中学校安全マップ」を作成し、自治会を通して各世帯に配布しました。

三笠山大学生が和寒小学校の各種行事(生活課授業等)に参加。子ども達との世代間交流を通して、高齢者の知恵や経験を学び、郷土愛と豊かな心を育むことができました。また、大学生は子ども達と触れ合うことで、自らの知恵や経験を伝えることができました。

《今後の課題と対応方法》

- ① 家庭教育や規則正しい生活習慣の重要性について関心が希薄な保護者に対し、興味関心、理解してもらえる様な企画や情報提供に努めていきます。
- ② 通学合宿は、平成23年度から規則正しい生活をおくりながら家庭学習や読書の習慣を身に付けることを目的に実施してきましたが、短期間での習慣づけが難しいことや、年々参加者が減少してきていることから、実施内容の見直しが必要です。

保健福祉課、図書館、関係機関等と連携を図りながら、各家庭へ子育て支援情報を継続的に 提供すると共に関係機関との連絡の強化に努めていきます。

- ③ 子育て世代だけではなく、地域住民に子どもの規則正しい生活習慣の重要性に関心を持ってもらえるような情報提供、講演会等を小中学校等と連携しながら計画し開催していきます。
- ④ 「こども安全見守り隊」「こども110番の家」「にこにこパトロール隊」など地域ボランティアの協力を得ながら、子ども達の安全確保と事件・事故抑止に努めていきます。

学校支援事業を継続し、登録ボランティアの活用については、より効果的な活用を模索していきます。

三笠山大学と和寒小学校とが世代間交流し、子ども達が先達の知恵と経験が学べる場を継続的に実施できるよう努めていきます。

施策の評価(2)

《総合計画施策体系の主要施策名》

社会教育活動の充実

《重点項目》

- ① 生涯各期における学習活動の促進
- ② 町民参画や協働による社会教育活動の充実

《令和元年度取組の概要》

- ① 社会情勢や生涯学習に関わる情報収集や各関係機関との連携と町民の学習要求の把握
- ② 町民の学習の成果を生かせる環境づくりと、地域の人材の発掘
- ③ 子どもたちの発達段階に合わせた、自然体験や文化・スポーツなどの体験活動の充実
- ④ 町民の参加意欲を高めるための学習情報の発信と生涯各期に応じた社会教育事業の充実

《実施状況》

- ① 公民館運営審議会
 - ・公民館運営審議会委員会議の開催 (2回)
 - ・公民館職員研修会等への参加

管内社会教育委員・公民館運営審議会委員等合同研修会(2名参加)

- ② 学校支援事業
 - ・授業補助支援の実施

プール授業の補助支援(小中学校) 7月~8月 12回 協力者数:1名 スキー授業の補助支援(小学校) 1月~2月 4回 協力者数:4名 小学校雪山づくり 2月 協力者数:1事業所

こども館までの下校指導

5月~3月 23回 協力者数:1名

・三笠山大学生による通学合宿での児童達への食事賄いの実施

通学合宿:11月19日~22日 3泊4日 協力者数:3名

③ 各種公民館講座

短歌教室

5月11日 12名参加

アート体験教室

8月 3日 31名参加

わっさむでワークショップ「世界の先端教育の方向性と日本の現在」

11月23日 24名参加

プログラミング超初心者教室

2月 5日 14名参加

わっさむでワークショップ 「イエナプラン教育」3月28日 40名参加

④ 一市二町合同ジュニアリーダー研修会

第Ⅰ期:日帰り研修 1日間 和寒町担当 第Ⅱ期:野外活動2日間 士別市

第Ⅲ期:新型コロナ対策のため中止

年3回 小学5年生対象 和寒町 延べ23名参加

- ⑤ 土曜日の教育活動推進プラン「わっとさむドキドキクラブ」
 - ・子ども達たちの学力・体力向上と生きる力を育むため、土曜日の午前中に自然体験活動等を実施。(年間8回)小学1~6年生37名登録 延べ121名参加
- ⑥ 各種社会教育事業の実施
 - ・かたくり庵のつどい(お茶会、短歌会 162名参加)
 - ・三笠山大学(高齢者大学18回 登録44名)
 - ・女性セミナー(2回 延べ49名参加)
 - 新就業者のつどい(新社会人、青年への講演会と交流会17名参加 対象者74名)
 - ・成人式の実施(26名参加 対象者44名)
 - ・青年の集い(わっさもっしゅ)を通学合宿体育プログラムの中で実施。(3名参加。)

《点検評価》

- ① 公民館運営審議会で、各種事業についての審議及び各種研修会への参加で、社会教育について学習を深めることができました。
- ② 地域ボランティアの協力を得て、体育授業の補助支援や子育て支援センターまでの引率などを実施する学校支援事業や通学合宿における児童への食事賄いを三笠山大学と連携し、地域の教育力や技能を生かせる場と世代間交流の場を提供することができました。
- ③ 不定期ではありましたが各種公民館講座を開催し、子どもから高齢者まで幅広く生涯学習活動への支援ができました。
- ④ 各種社会教育事業を実施し、多くの町民に学習機会と生涯学習の充実を図ることができました。
- ⑤町内の青年層の異職間交流と研修機会を提供し、幅広く交流が図られた。

- ① 町民の多様な学習要求に応えられるよう、各種研修会に参加し社会情勢や生涯学習に関わる情報収集や各関係機関・団体・市町村間との連絡強化に努めていきます。
- ② 町民の学習の成果を生かせる環境づくりと地域の人材発掘の情報収集に努めていきます。
- ③ 町民が、社会教育活動や生涯学習に興味、関心を持ってもらえるようなその時々の時代に合った企画に努めていきます。
- ④ 町民の多様な学習要求に応えられるよう、社会情勢を踏まえて、定期的な学習機会の提供に努めていきます。
- ⑤青年層の活躍機会を継続して実施していくが、自主的な青年活動や企画運営への導きや支援 が必要です。

施策の評価(3)

《総合計画施策体系の主要施策名》

社会教育推進と文化振興のための基盤整備

《重点項目》

生涯学習環境の整備活用と人材育成

《令和元年度取組の概要》

- ① 社会教育関係施設職員の資質向上のための研修機会の拡充
- ② 社会教育関係施設とその活動状況や情報の共有による連携の強化
- ③ 和寒町未来を拓く人づくり推進事業の推進
- ④ 文化・スポーツ団体等の活動紹介や指導者について情報提供し、会員増に向けた啓発
- ⑤ 文化・スポーツ振興基金を活用した指導者育成の支援

《実施状況》

- ① 各種研修会等への参加。
 - ・社会教育主事等共同研究(4回、延べ5名参加)
 - ・地域生涯学習活動実践交流セミナー(1名参加)他
- ② 社会教育委員会議の開催 (2回開催)
- ③ 和寒町未来を拓く人づくり推進事業補助を活用した小中高生の国内外研修の実施
 - ・中学生の台湾交流研修

8月10日(土)~14日(水)(4泊5日) 研修地:台湾(高雄、台北) 対象者:中学2年生 参加者:22名(引率者3名)

• 酪農海外研修

1 1月4日(月)~10日(日)7日間) 研修地:カナダ 対象者:高校3年生 参加者:1名

- ④ 和寒町の社会教育の発行。社会教育の概要、文化・スポーツ団体の紹介等
- ⑤ 文化振興基金補助及びスポーツ振興指導者養成補助の周知及び支援の実施
 - 文化振興基金補助 1件

《点検評価》

- ① 各種研修会、研究会に参加し、社会教育担当職員の資質向上に努めました。
- ② 社会教育委員会議を2回開催し、社会教育関係施設の活動計画・状況報告や各種事業の課題と評価についての協議や各種情報の共有と連携を図る事ができました。
- ③ 台湾での国際交流研修で現地の学校との交流を実施。国際社会に向けた、子ども達の視野の拡大と異文化に触れることで、外国語の必要性や学習に対する意識変革を図ることができました。また、交流先の学校2校(樹人医護管理専科学校、五福国民中学)と和寒中学校で姉妹校の提携をしたことから、今後も相互交流を含めた国際交流事業を進めていきます。
- ④ 和寒町の社会教育(冊子)を作成。社会教育の概要、文化・スポーツ団体等の活動紹介や 指導者についての情報提供ができました。
- ⑤ 各関係団体等への文化振興基金補助及びスポーツ振興指導者養成補助の周知及び支援をすることで、活動の活性化と指導者育成を図ることができました。

- ① 社会教育担当職員の資質向上や社会教育主事の増員に向けた取り組みと、町民への学習活動、学習情報の提供・充実に努めます。
- ② 社会教育関係施設職員及び各関係機関・団体との連携を強化し、町民の多様な学習ニーズに対応できる体制づくりに努めます。
- ③ 未来を拓く人づくり推進事業での台湾との国際交流研修に、対象者全員が参加できるような日程調整や異文化体験の重要性を生徒、保護者に理解してもらえるような工夫改善に努めると共に、学校間交流や英語での交流を増やすプログラム作成に努めます。また、姉妹校提携に伴い、双方向の国際交流事業の進展に努めます。
- ④ 生涯学習情報の提供を適時行い、町ホームページ等を活用し、各種団体と連携を図り、文化・スポーツ活動の人口増に努めます。
- ⑤ 文化振興基金補助及びスポーツ振興指導者養成補助を活用し、文化振興、指導者の養成に 努めます。

施策の評価(4)

《総合計画施策体系の主要施策名》

芸術文化活動の充実

《重点項目》

豊かな心を育む文化活動の振興(芸術文化活動の充実)

《令和元年度取組の概要》

- ① 文化団体・サークル活動の情報発信と参加奨励の機会拡充
- ② 文化団体・サークル活動などの学習成果を生かせる場の充実
- ③ 町民主体の自主企画事業や芸術鑑賞事業を継続し、多くの世代が芸術文化に親しむことのできる機会の充実

《実施状況》

- ① 町広報誌等での活動状況の掲載。
- ② 町民文化祭での芸能発表会の開催及び作品展示、北原交流展示館での作品展示。 剣淵町との作品展示、芸能発表会の相互交流。
 - ·町民文化祭芸能発表者数 166名
 - 町民文化祭作品展示者数 161名 児童生徒作品展示者数 216名
 - · 北原交流展示館作品展示数 145点 来館者数 520名
- ③ 芸術文化講演会及び小中学生向けの芸術鑑賞事業の実施。
 - · 芸術文化公演会

春風落語会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)2月27日 入場者359名予定

・中学校芸術鑑賞事業:演劇「いのちのまつり」

9月5日 入場者164名(生徒150名、教員他14名)

《点検評価》

- ① 町広報誌やホームページ等を活用し文化団体・サークルの活動状況を広く町民へ周知する ことが充分にできませんでした。
- ② 町民文化祭や北原交流展示館を活用し、各文化団体・サークルの学習の成果を発表する機会の提供をすることができました。また、剣淵町文化祭への作品展示や芸能発表会参加をとおし、文化交流を図ることができました。
- ③ 子どもから高齢者まで幅広い世代に向けた、質の高い芸術文化鑑賞の機会を提供し、芸術文化に触れる機会を提供することができました。

- ① 高齢化、固定化する各文化団体・サークルの会員増に向けて、広報誌・町ホームページ等 を活用し、活動内容の紹介と文化活動人口の増に努めます。
- ② 町民文化祭や北原交流展示館での芸能発表や作品展示を、より多くの人達に興味関心を持ってもらえるような工夫改善に努めます。
- ③ 町民文化祭等で、剣淵町との相互文化交流の継続的な実施に努めます。
- ④ 町民の興味関心を引くような芸術文化公演や各種講演会と、学校と連携を図り小中学生向けの芸術鑑賞事業で、各世代に質の高い芸術に触れる機会に努めます。

施策の評価(5)

《総合計画施策体系の主要施策名》

郷土文化の継承

《重点項目》

文化財の保存と活用の推進

《令和元年度取組の概要》

- ① 郷土資料館収蔵資料及び収蔵資料データの整理
- ② 有形文化財の調査・保存・活用や無形文化財の保護や継承
- ③ 学校教育・社会教育事業と連携のもと、郷土資料館や指定文化財を活用した事業の展開やインターネットなどを活用した情報の発信

《実施状況》

- ① 郷土資料館収蔵資料のデジタルデータの整理
- ② 郷土資料館特別企画展の開催

《点検評価》

- ① 収蔵資料カードの内容確認、修正、資料の移設を行い、収蔵資料のデジタルデータをDV Dに収録しました。
- ② 「わっさむのこの石なんの石?石碑探し2」を郷土資料館特別企画展として実施し、石碑をとおして和寒の歴史を振り返るとともに、郷土資料館への来館者の増加に努めました。

- ① 文化財保護委員会で、文化財の適正な保存・活用について継続して協議していく必要があります。
- ② データ化した収蔵資料の内容の確認、整理、修正を進め、郷土資料のデジタルな情報公開や活用方法の検討が必要です。
- ③ 郷土資料館を活用した企画展や学校授業での活用に努める必要があります。
- ④ 郷土資料館の運営・ソフト面での活用方法及び点在する廃校資料の集約等について、文化 財保護委員や関係機関等と協議していく必要があります。

3. 図書館関係評価項目

	主要施策名	重点項目
1	生涯学習支援の強化と読書推進活動の充実	①資料の充実とレファレンスを通した適切な資料・情報の提供
	ジル ス	19 IF TK 12 IC
2	読書に親しめる事業の推進	①家庭読書支援と魅力ある図書館事業の推進

施策の評価(1)

- 《総合計画施策体系の主要施策名》
 - 1 生涯学習支援の強化と読書推進活動の充実
 - 2読書に親しめる事業の推進

《重点項目》

- ① 資料の充実とレファレンスを通した的確な情報・資料提供
- ② 家庭読書支援と魅力ある図書館事業の推進

《令和元年度取組の概要》

- ① 図書館サービスの強化
- ②ア) 読書推進活動の充実
 - イ) ボランティア支援
 - ウ) 図書館活動の啓発

《実施状況》

① 図書館サービスの強化

蔵書の充実(書籍 2,138 冊、視聴覚資料 17 タイトルを購入) リクエストサービスの実施(88 冊購入) 相互貸借サービスの実施(99 冊借受、157 冊貸出)

レファレンスサービスの実施

国立国会図書館貸出制度への加入

②ア) 読書推進活動の充実

学校・地域ボランティアとの共催事業の実施

- ・配本事業の実施 町内7施設
- ・ブックトーク 18 回実施(小学校)
- ・ブックラリー実施(通年)39人参加
- ・読書感想文コンクール実施 199 人参加
- ・ブックスタート 13 組に実施
- ・図書館土ようおはなし会の開催 21回103人参加
- ・日ハム読書推進キャンペーン参加
- イ) ボランティア支援

活動費の援助

- ・イベント準備代
- パネルシアター購入

活動の場の提供・拡大

- ・夏まつり、クリスマスほかおはなし会開催 4回151人参加
- ・赤ちゃんおはなし会開催 2回35人参加
- ・読みきかせ研修会等の情報提供
- ウ) 図書館活動の啓発

図書館事業の開催

- ・読書週間記念事業開催「工作おたのしみ教室」14人参加
- ・図書館調べ物クイズ 9人参加
- ・劇団すぎのこ「このつぎなあに」51人参加

- ・劇団バク「ねずみのすもう」54人参加
- ・子ども映画会(2回) 計71人参加
- ・古本まつり開催(2回)
- 文化祭共催事業の開催

風樹舎展「二橋愛次郎の世界」開催 10/26-11/17

- ・小林白炎アート教室 31 人参加
- ・町民作品展・発表会など(写真展、押し花展、お茶席 他) その他
- · 中学校職場体験受入3名
- · 三和高等学校職業体験受入 2 名
- ・HPや広報誌での情報提供

《点検評価》

① 図書館サービスの強化

蔵書数は、書籍数 86,716 冊、視聴覚資料 2,727 件と充実している。コロナ禍での休校や自粛の影響を受け、3 月の利用が激減したため、一人あたりの貸出率は 8.70 冊で前年度より 0.48 冊の減となったが、全道図書館との比較では、高い貸出率を保っている。

蔵書の活用を図るため、特集コーナーや特設コーナーの設置など、蔵書の魅力を活かした利用しやすい配架に努めている。また、利用者のニーズに合った幅広い資料提供のため、相互貸借やリクエストサービスに力を入れる他、レファレンスサービスを通して生涯学習や総合学習などの支援に努めている。各サービスの普及については、HPや広報誌、来館時の宣伝などを通して継続していく。

②ア) 読書推進活動の充実

平成28年度より5年間を実施期間とする「第2次和寒町子ども読書活動推進計画」に添い、育児、保育関連、学校や図書館ボランティアなど各関係機関、団体と協働のもと、子どもの読書活動支援に努めた。

ブックトークは、18回実施。司書が各学年の教室を訪問し、子どもたちとの交流を通し、より生徒達の興味関心の助長に努めるよう内容の充実を図った。また、小学校では、図書館からの配本を利用した個人貸出が継続されており、学校での読書活動も活性化している。中学校へは、図書館配本を利用して、図書室内に作られたヤングアダルト世代の人気本や雑誌のコーナーの充実を図っている。

ブックスタートは健診会場にて 13 組に実施。実施にあたっては、司書、保健師、ボランティア、保育士がそれぞれの役割を担い、連携して実施した。

その他、各イベントにおいて、各関連機関やボランティアと共催し実施にあたることができた。

イ) ボランティア支援

ミニイベントおはなし会については、コロナウィルス感染症拡大の影響を受け2月開催予定だった「冬のおはなし会」が中止となり、ハロウィンおはなし会など2公演を開催した。また、赤ちゃんおはなし会(年2回)、夏まつり(年1回)、クリスマス会(年1回)を開催。開催に際し活動費や資料提供などの協力・支援を行った。

赤ちゃんおはなし会はブックスタートのフォロー事業として、今後も保育士、保健師と 連携を持ち継続していく。

ウ) 図書館活動の啓発

読書週間啓蒙のための 5 月には町内ボランティアグループによる記念事業(「青空おはなし会」)を、11 月には町外ボランティアによる記念事業(おはなし工作教室)を開催した。また、各関連機関と連携を組んだ多種多様な事業の開催により、図書館の多様性を PR することができた。

その他、幼児・児童の保護者に向けた図書館利用案内などを通して、子どもの読書活動への啓発に努めた。

図書館の活動については主にホームページや防災無線により情報提供に努めた。

《今後の課題と対応方法》

① 図書館サービスの強化

今後も利用者のニーズにあった蔵書構築に力を入れ、整備を行い資料の活用を図る。 また、他施設・団体や町外図書館と協力して、調べ物利用に幅広く対応出来る体制を強化 すると共に、リクエストや相互貸借、レファレンス等の図書館サービスの周知に努める。

② 図書館施設設備の整備

老朽化した図書館備品などの整備

- ・視聴覚システム更新
- 視聴覚室空調機更新
- ボイラー更新
- 屋上防水修繕

安全で快適な施設環境の維持

外壁、正面玄関階段などの補修

③ア) 読書推進活動の充実

子どもの読書活動については、令和3年度より開始予定の「第3次子ども読書活動推進 計画」を策定し、それに基づき、関連機関・団体との連携を持って事業展開するよう努め る。

また、利用傾向に合わせ、調べ学習に対応した活用しやすく整備された配架や、読書活動の活性を促すような魅力ある蔵書の収集と効果的な提供に努める。

今後も、司書による学校訪問を通した読書案内の継続や、広報誌などで図書館サービスの周知に努める必要がある。

イ) ボランティア支援

ミニイベントおはなし会については、潤滑に開催できるように、保育所や小学校など関係機関との連携をとり、広く周知していく必要がある。また、赤ちゃんおはなし会は、ブックスタートのアフターフォロー事業として、PR強化に努める。

活動費の支援、研修等についての情報提供を継続し、新規メンバーの募集や後継者の育成支援に努める。

ウ) 図書館活動の啓発

読書週間啓蒙のための記念事業を開催し、読書週間の周知に努める。

また、ホームページの更新や館内特設コーナーの設置などによる蔵書のPR、多種多様な事業開催を通して、利用しやすい親しみのある図書館環境作りを継続し、新規利用者の開拓に努める。

4. スポーツ振興関係評価項目

	主 要 な 施 策 名	施策の内容
1	健康で明るく豊かな生涯スポーツ の振興	① スポーツに親しむ機会の拡充② スポーツ人口の拡大と組織強化③ スポーツを通した交流活動の促進
2	スポーツの基盤の整備充実	① スポーツ指導者の育成・強化 ② スポーツ施設の整備、管理運営の充実

施策の評価(1)

《総合計画施策体系の主要施策名》

健康で明るく豊かな生涯スポーツの振興

《施策の内容》

- ①スポーツに親しむ機会の拡充
- ②スポーツ人口の拡大と組織強化
- ③スポーツを通した交流活動の促進

《令和元年度取組の概要》

- ①スポーツを身近に感じられるよう、町民のニーズに対応したスポーツ活動を実施し、スポーツ参加機会の拡充に努める。
- ②スポーツ人口の底辺拡大を目的とした団体との連携強化や指導者育成、情報提供など 活動支援に努める。
- ③町民大運動会をはじめとするスポーツ事業や、総合型地域スポーツクラブの活動をとおして異世代間の交流に努める。

《実施状況》

- ①スポーツを身近に感じられるよう、スポーツの機会と体力の維持増進を目的としたスポーツ教室を開催した。また、未来のトップアスリート全力サポート事業と題し、和寒町出身のオリンピック出場選手を招いて教室を開催し、トップレベルを体験してもらうことで、参加者の技術の向上を図った。
 - ·各種水泳教室(対象:小学生)1回(3日間)58名参加
 - ・スポーツ吹矢体験教室(対象:全町民)1回71名参加
 - ・ジュニアスキー教室(対象:保育所年長、小学1年生)4回(2日間)18名参加
 - ・菊地二久選手:トップアスリートバイアスロン射撃体験教室50名参加(10/6)
- ②スポーツ人口の底辺拡大を目的として、スポーツ関係団体への補助及び各団体が実施するスポーツ教室への支援を実施した。
 - ・スポーツ協会及び加盟 16 団体、スポーツ少年団本部及び加盟 7 団体への補助
 - ・各団体スポーツ教室支援の実施 5団体
- ③わっさむ 120 年記念事業として行なった町民大運動会は、昨年に引き続き午前日程で開催し、2 自治会が不参加ではあったが、晴天に恵まれ予定通り全競技を実施した。その他の大会については、スポーツ団体と連携しながら開催している。総合型地域スポーツクラブについては、クラブと連携しながらスポーツ教室を開催した。

また、町民ロードレース大会、町民スキー大会については、剣淵町民にも声掛けを行い、 交流を図った。

- ·第58回町民大運動会(対象:町民)7/7晴天 全競技実施 午前日程
- ・水中レクレーション大会(対象:幼児~小学生)55名参加(8/3)
- · B&G会長杯少年少女水泳大会(対象:小中学生)26名参加(8/2)
- ・町民ロードレース大会・スポーツチャレンジデー(対象:町民)100名参加(10/6)
- ・和寒東山スキー場ヒルクライムレース 330 名参加(うち町民 60 名)(10/22)
- ・町民スキー大会(対象:町民)競技0名、レク0名参加(コロナのため中止)
- ・総合型地域スポーツクラブ「わっさむフレンドパーク」活動 会員数 52 名 小学生対象事業(マット運動、軽スポーツ他)18 回

《点検評価》

①水泳教室については、小学生を対象者とし、参加者のレベルに合わせたコース別指導を 行った。教室の中では最初水に顔をつけることができなかった者も最終的にはビート 板で泳げたり、25m 泳ぐことができた者もいるなど泳力向上につながった。

スポーツ教室については、スポーツ吹矢体験教室をスポーツチャレンジデーと同時 開催することで、普段は参加する機会が少ない小学生等が体験することができ、地元会 員の指導で世代間交流が深められた。

ジュニアスキー教室については、冬休み中に学校スキー授業に対応できる能力を養うことを目的として、保育所年長児と小学 1 年生を対象にスキーの基礎技術やリフトの乗り方等を中心に指導を行い参加者のスキー技術の向上につながった。

バイアスロン射撃体験教室については、和寒町出身のオリンピック選手と交流しながら普段触れる機会の少ない競技が体験できたため、好評を得た。

- ②各団体が会員拡大を目的としたスポーツ教室の取り組みについて、情報提供や支援を行うことで、各団体の組織強化に努めることができた。
- ③町民大運動会では記念事業種目「オフィスアジャタ」の実施、団体種目の人数削減を行い、自治会が参加しやすくなるよう見直しを図った。

ロードレース・スポーツチャレンジデーなどではスポーツ大会の開催を通じて剣淵町との交流を図ることができたが、参加者数の減少が顕著になってきたため事業の見直しが必要と考えられる。

初開催となったスキー場ヒルクライムレースは、予想を上回る参加者数や反響の大きさがあり、次年度も引続き実施していきたい。

総合型地域スポーツクラブの育成については、運営費用の一部を助成し、子どもの体力向上を中心とした教室の開催につながっている。

《今後の課題と対応方法》

- ①小学生や幼児を対象とした教室については、児童の体力向上や基礎技術の習得を目的 として継続して実施する必要がある。
 - 一般向けの教室については、スポーツ実施率の向上に向け、気軽に参加できるスポーツ教室や継続して取り組める内容を検討していく。
- ②スポーツ団体への支援については、1団体が活動継続は困難だとしてスポーツ協会を 脱退・解散したが、今後も新規加入者の確保やスポーツ人口の底辺拡大に向けた取り組 みに対し、引き続き支援をしていくとともに、団体の組織強化、指導者の育成につなが る事業の取り組みを継続していく。
- ③町民大運動会、ロードレース大会、スキー大会は参加者の減少を踏まえ、感染症対策と 併せてスポーツ交流活動の在り方を見直す必要がある。

スキー場ヒルクライムレースは、周辺自治体と連携して実施するなど取り組みの広がりが見られるため、スキー場の認知度向上や町のPRとなるよう引続き工夫して活性化を図る。

総合型地域スポーツクラブは、小学生を対象とした放課後の実施がメインとなっており、児童の運動能力向上に一定の成果が見られる。今後は大人の運動不足解消に向けたプログラムを検討する等、スポーツに関わる機会の拡充を図る。

施策の評価(2)

《総合計画施策体系の主要施策名》 スポーツの基盤の整備充実

《施策の内容》

- ①スポーツ指導者の育成・強化
- ②スポーツ施設の整備、管理運営の充実

《令和元年度取組の概要》

- ①既存の種目や軽スポーツなど多様なニーズに対応した指導者を育成・確保するため、講習会の開催や情報提供、資格取得費用助成等の支援に努める。
- ②スポーツ団体との連携を強化し、施設の効率的、効果的な利用に努めるとともに、だれ もが利用しやすい施設整備、運営に努める。

《実施状況》

- ①町内のスポーツ団体や少年団指導者、スポーツ指導員等がスポーツの指導を行う際に 必要な資格取得の費用を助成した。
- ②体育施設(研修館楡・片栗庵含む)は、体育団体自ら使用する施設の管理運営を基本に一般財団法人和寒町スポーツ協会を指定管理者に指定し管理運営を行っている。東山スキー場については、スポーツ施設の他にレジャー施設としての役割もあるため、民間活力の導入により柔軟な発想とサービスの向上を目指し、町内の民間企業を指定管理者に指定し管理運営を行っている。また合わせて体育施設の整備を実施してきている。・パークゴルフ場改修工事(運動広場コース9ホール増設)

《点検評価》

- ①多様なニーズに対応した指導者の育成を図るため、スポーツ団体の指導者などの資格 取得に対する費用の一部を助成することにより、多大な費用のかかる上級資格の取得 が可能となるため、指導者の育成・強化に繋がった。
- ②指定管理者制度移行により適切な管理運営のもと、施設の利用率を向上するための取り組みや、コストの削減に向けた取り組みが図られている。また、改修が必要な施設や 設備の改修及び更新を実施してきている。

- ①スポーツ指導者などの資格取得については、上級資格になるにつれ道外で試験が行われる場合が多く、多額な費用がかかるため取得しづらかったが、上級の資格を取得しやすい環境をつくることにより、指導者の資質の向上、育成、強化につながるため、今後も継続していく。
- ②指定管理者と連携しながら、利用者の立場に立ったサービスの向上、更には運営コストの低減にもつながるよう、適切な管理運営及び情報共有を図っていく。
 - また、施設の効率的な整備内容について、指定管理者と連携して修繕箇所等の状況把握に努め、計画的に整備を進めていく。

令和元年度 学識経験者意見書

令和元年度和寒町教育委員会の事務管理及び執行状況の点検・評価報告書

令和元年度教育委員会の事務管理及び施行状況の点検・評価報告書並びに教育委員の活動 状況について、教育長並びに事務担当者の出席のもと各報告書の説明を受けました。

次のとおり結果の報告を致します。

1. 教育委員会の活動状況について

定期的に会議等を開催し、教育行政の円滑な推進に向けて、積極的に活動されております。なかでも学校の訪問では、児童・生徒の学習の様子や学習環境、施設の状況、学校給食の試食体験など行っております。また、各種研修会にも参加し教育委員として研鑽に努められております。

2. 学校教育について

確かな学力を身につけ、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るためのわかる授業、加配教員、少人数指導などの工夫に努めております。学校現場においても教師自らのスキルアップを図るための先進学校へ視察研修を実施するなど積極的な推進が伺えます。

また、学校運営協議会による学校に対する評価や、保護者や地域住民と連携した取り組みなどそれぞれの改善にも努めております。

このように学校教育に掲げる重点項目の達成に向けた施策を推進していくことが何より も大切であり評価致します。

しかし、今年になって新型コロナウィルスの感染拡大により学校が3学期において「2月27日から4月5日」まで休業という異常事態が起きたことから、子どもたちの学習に影響がなければと憂慮しております。このような事態に備え、オンライン授業の導入が進められているようですので、教職員を含め環境整備の充実に期待致しております。

国際理解教育の推進では、中学2年生による海外研修をはじめ、町単独でALTを確保し、保育所から学校、町民まで広く国際文化に触れる機会で成果を上げております。

特別支援教育におきましては「和寒版子育てファイル」の活用で、切れ目ない支援の着 実な推進が図られておりますので評価できます。

学校給食におきましては、士別市給食センターから配食方式で実施しており、地場産品を使用するなど安全・安心を第一に実施されておりますし、広く食事マナーや学校菜園を活用して食育について学習しており評価致します。

3. 社会教育及びスポーツについて

子どもたちの健やかな成長・発達のための支援では、通学合宿の実施や学習サポート事業、こども安全見守り活動への取り組み等は継続して実施しております。社会教育活動で

は、公民館運営審議会の審議を経て学校支援事業、公民館講座の開催、各種社会教育事業 の実施等計画通り実施されております。

生涯学習では、人材育成事業に積極的に取り組まれていることが伺えます。

芸術文化活動では、文化祭芸能発表会や公演会が開催されておりますが、常に住民ニーズを念頭に工夫改善に努め進めてください。

総じて社会教育分野は、計画に沿って各種事業が実施しておりますので評価します。

しかしながら、今後一層高齢化社会は着実に進行していきますので、事業の展開は難しい面は多々あると思いますが検討を願います。

町立図書館は、生涯教育支援の拠点施設として蔵書の充実を図り、幼児から高齢者まで 広く親しめる施設となっております。このことは、職員が日頃から図書館の充実に向けて 努力されていると思われます。今後におきましても啓発活動など積極的に展開し町立図書 館のなお一層の充実に期待しております。

スポーツの振興では、健康で明るく豊かな生涯を目指しスポーツ人口の底辺拡大に努められております。なかでも町民大運動会は、特に地域自治会において、住民の減少と高齢化とで参加しづらいこともあり、少人数でも競技に参加できる種目が検討されたことや東山スキー場を活用してのイベントの開催など積極的に振興が図られており評価します。

スポーツ各施設の管理は、指定管理者となっていることから管理状態及び運営などについて常に留意し執行にあたってください。

4. 総括

今は、新型コロナウィルスの感染防止に翻弄され、これが日常生活、学校教育にまで及び終息のみえない不安な日々を過ごしております。このようなコロナ禍にあっては感染防止に最善の注意を払い、教育現場をはじめ社会教育活動を進めていく他ありません。

コロナウィルスの感染防止には「3密」を避け、教育行政を執行していくしか対策はなく、この事態を職員が一丸となって乗り切ってください。

結びに、和寒町教育委員会のより一層の発展に期待し報告と致します。

平成31年度教育行政執行方針

教育行政執行方針

平成31年第1回和寒町議会定例会の開催にあたり、 和寒町教育委員会所管の教育行政執行方針について申 し上げます。

現在、情報技術の飛躍的な進化等を背景とした人工知能(AI)の急速な進化やグローバル化の進展などに伴い、社会の変化は加速度を増し、複雑で将来の予測が困難となってきています。

そのような社会の中で、子どもたち一人ひとりが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め再構成するなどして新たな価値につなげていくことなど、子どもたちがよりよい人生と社会を築いていくための教育が求められています。

本町においては、このような動向を踏まえ、教育の目的である「人格の完成」と「平和で民主的な国家及び社会の形成者」として必要な資質である「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」などの知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目指し、学校、家庭、地域が一体となった教育活動の推進に、一層努めていくことが重要と考えております。

また、町民一人ひとりが生きがいのある人生を送ることができるよう、学びの環境や機会を充実させ、生涯に

わたって主体的に学び続け、その成果を社会に生かしていく生涯学習社会の充実に努めていくことが必要と考えております。

このような認識のもと、和寒町教育委員会では、「第 5次和寒町総合計画後期計画」や「教育大綱」を踏まえ、 教育・文化・スポーツの振興を図るため、関係機関、団 体等との連携に努め、「未来を拓く心豊かなまちづくり」 の実現に向け、町民の皆さまの期待と信頼に応える教育 行政を推進してまいります。

以下、平成31年度の主な施策について申し上げます。

はじめに、学校教育の重点施策について申し上げます。 新年度の学校教育については、「総合計画後期計画」 や「教育大綱」に基づき、新学習指導要領の理念である 「生きる力」を育てる教育活動と学習環境の充実を目指 し、次の3つの重点的な取り組みを推進してまいります。

取り組みの第1は、「豊かな人間性を育む教育活動の 推進と学習環境の充実」についてであります。

その施策の1つ目「自立した生き方を支える基本的な 資質・能力の確実な定着と社会の変化に対応した、新し い時代を生きていくための実践的な力を培う教育」につ いてであります。

これまで「学ぶ力を育む推進事業」や「新しい学びへ

の対応推進事業」に取り組む中、平成30年度の全国学力・学習状況調査については、小、中学校に理科の調査が加わって実施され、小学校では国語A・B、算数A・B、理科の5教科とも全国平均を上回る結果となりました。中学校では、数学A・Bが全国平均を下回りましたが、国語A・Bは全国平均を上回り、理科は全国平均とほぼ同値という結果となりました。

今後も、確かな学力を育成するため、指導力向上を目 指した取り組みの充実を図ってまいります。

また、特別支援教育については、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実を図るため、31年度も引き続き、小学校に2名、中学校に1名の支援員を配置するとともに和寒町特別支援教育連携協議会を中心に、教育・福祉・医療等の関係機関と連携のもと、昨年度、子どもの誕生から子どもの成長を一貫して支援する個別の支援計画「和寒版子育てファイル『すとーりー』」が完成し、周知・啓発に努め、一部活用してまいりましたが、今年度から保健福祉センター・保育所・小、中学校で本格的な活用を図ることとしております。

次に、「地域とともにある学校」、学校運営協議会についてであります。

昨年度、教職員をはじめ保護者、地域住民への説明会 や広報紙等で啓発活動を行ってきたところであります が、昨年6月より、学校運営協議会が設置され、コミュ ニティ・スクールが開始されました。これまで4回協議会が開催され、学校・保護者・地域住民が一体となった地域とともにある学校を目指して熟議がなされています。

また、グローバル化に対応するため、昨年、「わっさむ英語力向上推進プラン」を立ち上げ、2年目となる本年も各種事業の充実を図り、児童生徒の英語力向上に努めてまいります。

さらに、情報教育の推進については、パソコンの配置、 実物投影機の設置など学習環境の整備に努めてきたと ころでありますが、今後、小学校でのプログラミング教 育の必修化を踏まえて、本年度より大手通信会社による 「ペッパー社会貢献プログラム」に参加し、人型ロボットを活用したプログラミング教育の取り組みを推進し ます。また、電子黒板の設置により、視覚に訴え、より 分かりやすい授業づくりを進めます。

施策の2つ目「思いやりや豊かな心を育むとともに、 正しい生活習慣の確立や体力の向上による健やかな心 身を育てる教育」についてであります。

小・中学校においては、「特別の教科 道徳」が全面 実施されます。今後も、一人ひとりの児童生徒が道徳的 な問題と向き合い、「考える道徳」「議論する道徳」の授 業の充実を目指すとともにボランティア活動や自然体 験活動など豊かな体験活動を生かし、家庭や地域社会との連携を図りながら、道徳性が育成されるよう支援してまいります。

また、「いじめ・不登校」の問題については、いつでもどこでも起こりうるという認識のもと、常に気を緩めることなく、学校と連携しながら早期発見、早期対応、早期解決に努めてまいります。

さらに、平成26年度に作成しました「和寒町いじめ 防止基本方針」について国・道の動向に合わせて、「い じめ」の定義や「いじめの解消」について付加するなど 一部改定を行い、学校と情報共有をしたところでありま す。

次に、健やかな心身の育成については、日常的に運動に親しむ習慣や望ましい生活習慣を身につけることが大切なことから、各学校の特色を生かした「一校一実践」の取り組みや総合型地域スポーツクラブ「わっさむフレンドパーク」、スポーツ少年団活動、部活動などスポーツ環境との連携、さらに、3年目に入る体育専科教員活用事業で加配された教員のリーダーシップのもと、体育授業の改善充実はもとより、体力の向上に向けた取り組みを進めてきているところであります。

平成30年度の体力・運動能力等調査の結果は、小学校では、8種目中、男子は6種目、女子も同じく6種目が全国平均を上回り、中学校では、男子は4種目、女子

は5種目で全国平均を上回る結果となりました。

今後もスポーツに興味をもって取り組めるよう、スポーツ環境の充実と関係機関との連携を図りながら、体力の向上に努めてまいります。

学校給食については、今後も、安全で安心な給食が提供されるよう士別市学校給食センターと連携を密にし、地産地消によるふるさと給食の提供をはじめ、「和寒町食育推進計画」を踏まえ、学校管理栄養士による出前授業を通して、食育に関する理解を深めてまいります。

施策の3つ目「学習環境の整備」についてであります。これまでも、児童生徒に直接指導に関わる教師の指導力向上を目指した取り組みの充実を図ってきているところでありますが、併せて、基礎学力の定着・向上を目指したステップ・アップ教室の週一回実施の他に、今後も、夏休みや冬休み中においても教育委員会主催で実施してまいります。

また、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図るため、 引き続き、漢字検定や英語・数学検定等を小・中学生に 推奨し、町民を対象とした各種検定料も含めて補助をし てまいります。

和寒町高等学校生徒通学費等補助については、引き続き事業を継続し、高校生の通学に係る経費の負担軽減を 図ってまいります。 旧三和小学校を利用した札幌自由が丘学園三和高等学校は、開校10年目に入るところでありますが、夏・冬に生徒、先生、保護者も来町し、一年を通して和寒町のフィールドを活用したスクーリングが実施されており、一層の交流人口の拡大につながるものと期待しているところであります。

今後も、後援会を中心に全町での受け入れ体制の充実 を図ってまいりたいと考えております。

また、平成16年度に閉校した旧中和小学校については、校舎の一部を貸し出して有効活用を図ってきたところですが、この度、借り主の転居に伴い、空き校舎となったことから、学校跡地利用検討委員会の意見を踏まえて、老朽化が進んでいる校舎の解体に向けて準備を進めることとしています。

次に、社会教育・文化活動の重点施策について申し上げます。

重点的な取り組みの第1は、「自ら学び、豊かな心とうるおいのある地域づくりと人づくりをめざす社会教育の推進」であります。

施策の1つ目は、「家庭・地域の教育力の向上への支援と充実」であります。

昨年6月にスタートしました地域学校協働本部事業

については、より一層地域で子どもたちを守り育てるため、これまでのボランティア登録の方をはじめ、新たに学校と同じ目線で連携・協働する体制の整備の充実を進めてまいります。

施策の2つ目は、「社会教育活動の充実」であります。 はじめに、「土曜日の教育活動」の取り組みについて であります。

子どもたちの健やかな成長のためには、土曜日の教育環境を豊かなものにする必要がありますことから、今年度も土曜日の教育活動「わっとさむドキドキクラブ」として、公民館や図書館をはじめ町内外の教育環境を活用した豊かで体験的な活動に取り組んでまいります。

また、5年目に入ります「ジュニア・イングリッシュ講座」は、特に低・中学年の参加が多く、英語に触れ、慣れ親しみながらコミュニケーション能力の素地の育成と関心を高めることができたものと考えており、引き続き実施してまいります。

施策の3つ目は、「社会教育推進と文化振興のための 基盤整備」であります。

10年目を迎える「和寒町未来を拓く人づくり推進事業」は、子どもたちの広い見識と豊かな感性や国際感覚を育むなど、健全な心身の成長に大きく役立つことから、今年度も、中学2年生全員を参加対象とした台湾での交流を計画しています。

昨年、交流している高雄市立五福國民中學と樹人醫護管理専科學校との間で姉妹校提携を締結したところでありますが、本年7月には五福國民中學の生徒が和寒町を訪問する計画があり、関係機関とも連携し相互交流の充実に向けて事業を展開してまいります。

重点的な取り組みの第2は、「魅力ある図書館づくり」 についてであります。

町立図書館は、これまでも、図書資料の整備充実や学習意欲を高めるための各種活動を展開し、貸し出し冊数や利用実績においても全道的に高い水準にあり、充実した運営を展開していますが、今後も、常に利用者の意見に耳を傾けながら、多くの皆さまに親しまれるよう工夫と改善に努めてまいります。

また、4年目に入ります「第2次和寒町子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、豊かな創造力を養うため、さらに人としてより良い人生を生きるための多様な力を育んでいけるよう、小・中学校での朝読書の継続や学校図書の充実を図るとともに、町立図書館と連携した読書推進活動により言葉を学び、感性を磨き表現力が高まるよう各種事業を推進してまいります。

重点的な取り組みの第3は、「健康で明るく豊かな生涯スポーツの促進」についてであります。

スポーツの振興については、「スポーツの町」を宣言 し、すでに、36年目を迎えるところであります。

これまでも、「誰もが親しめるスポーツ機会の拡充」と「スポーツ基盤の整備充実」を柱に取り組んできているところでありますが、今後も、スポーツ振興に係る体制を強化し、生きがいのもてる健康な体づくりのため各団体と連携しながら、子どもから高齢者まで誰もが参加できるプログラムを提供し、町民の体力向上を推進してまいります。

また、スポーツ施設については、健康で明るく豊かな生涯スポーツの振興を図るため、パークゴルフ場のホール増設をはじめ、環境整備と各施設の老朽化した箇所の修繕や備品の更新などを順次進めながら、多くの皆さまに親しまれる施設としてご利用いただけるよう、指定管理者とともに適切な管理運営に努めてまいります。

次に、重点的な取り組みの第4は「安心して子どもを 生み育てる環境づくり」について申し上げます。

これまでも、安心して子育てができるよう保護者の負担軽減を行っているところでありますが、本年度も小中学校における学校給食費について3割を軽減し、保護者の負担軽減を図ってまいります。

また、これまで小学1年生及び中学1年生に支給していた新入学用品費、いわゆる入学準備金について入学の準備時期に支給できるよう必要な整備等を行っているところであります。

次に、重点的な取り組みの第5は「豊かな暮らしを支 える交通体制の強化」について申し上げます。

これまで、中学生に対する登下校支援策についての見直しの要望や昨年度の下校バス実証実験の結果、アンケートの意見など保護者の方々の要望を踏まえ、この度、新たに遠距離通学費補助対象を6キロメートル以上の生徒から、3キロメートルから6キロメートル未満の生徒に対しても冬期間の補助を検討しているところであります。

以上、平成31年度教育行政の執行に関する主要な方針を申し上げましたが、今後も、関係機関や諸団体と連携を密にし、協働の町、和寒を支える人づくりの実現と教育の振興に最善の努力をしてまいりますので、町議会議員の皆さま並びに町民皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますよう、衷心よりお願いを申し上げまして、教育行政執行方針といたします。